

取扱説明書 Ver 2.00

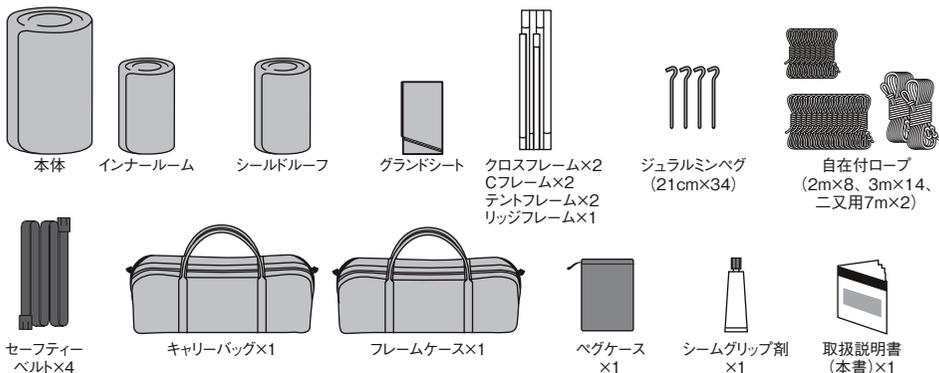
TP-710

**ゼツカ**



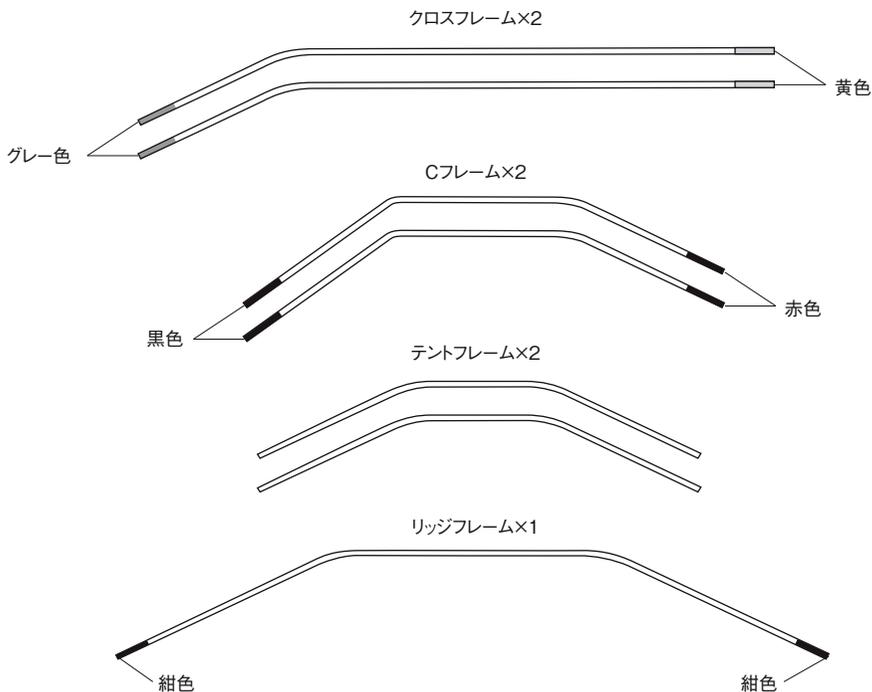
この度は、スノーピーク製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品は、キャンプ用シェルターです。安全にご使用いただくためにも下記の取扱説明書をよく読んでからご使用ください。また、読み終わった後も大切に保管してください。説明内容で理解出来ない点及び製品に不具合が確認された際には直ちに使用を中止しご購入いただきました販売店様もしくは弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

## セット内容 ※ご使用前にセット内容、付属品が全て揃っているかを確認してください。



セット内容は一般的な条件下での設営を基本としたものです。頑丈で長めのペグや、ロープなどを別途用意されると、柔軟な対応が可能となります。ペグやロープ、自在などは消耗品ですので、常に予備を携行することをお勧めします。

## フレーム構成



**安全上の注意事項** ご使用前によく読んで予測される事故を回避し安全にご使用ください。

**⚠ 危険** 明らかに生命に関わる重大な事故が予測される行為を示します。

- このシェルターの素材は難燃性ではありません。シェルター内では燃焼式のランタンやコンロ、ヒーターなどの熱源や、マッチ、ローソク、ライター、タバコなどの裸火や炎は絶対に使用しないでください。限られた空間での火気の使用は火災や酸欠、一酸化中毒などの恐れが大変危険です。
- シェルター内で燃料を保管したり、燃料を補給するなど、引火性のあるものを持ち込まないでください。



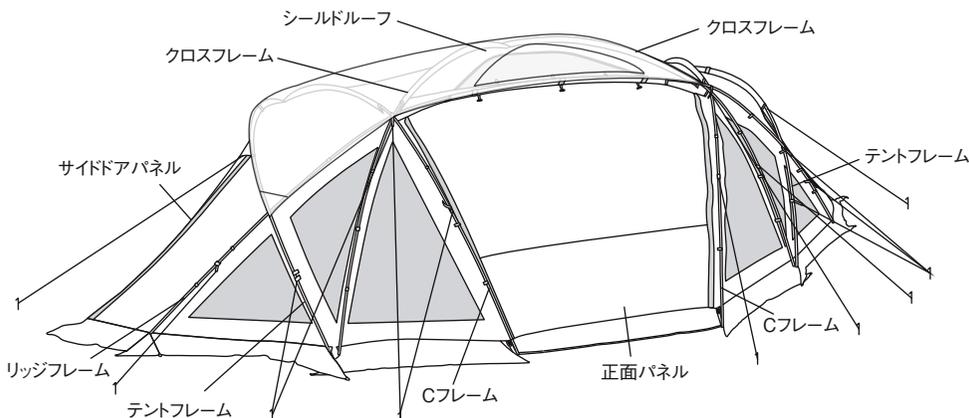
**⚠ 警告** 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

- ご使用前に、本製品を点検し各部に異常がないことを確認してください。異常が発見された場合は、直ちに使用を中止しお買い求めいただいた販売店様、または弊社ユーザーサービス係に点検または修理を依頼してください。
- 気象状況には常に細心の注意を払い、風の強い時や悪天候が予想される時は速やかに撤収して安全な場所へ避難してください。
- 高温に加熱されたものや発熱性のあるものを持ち込まないでください。火災や熱中症などの危険があります。
- 天候によりシェルター内は高温になり、熱中症などの危険があります。お子様の昼寝の際など、細心の注意を払ってください。
- 風の吹き抜けるような場所や、雪崩、がけ崩れ、急な洪水や氾濫などの恐れのない地盤のしっかりとした、水はけの良い平坦な場所を選んで設営してください。

**⚠ 注意** ケガや本体破損、物品破損として拡大損害の原因となる行為を示します。

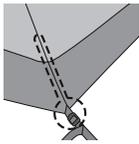
- 本製品は常設用ではありません。シェルターの素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度低下を起しますので、常設用として使用しないでください。
- 日差しによりシェルターの表面は低温やけどに発展するほどの高温になります。十分にご注意ください。
- 焚火や花火などのそばで組み立てたり、使用しないでください。設営・撤収の際には、周囲に火気がないことを確認してください。火の粉を振り、生地に穴を開けてしまう場合があります。
- シェルターの設営・撤収の際は、風に飛ばされないよう本体をしっかりとして支えて作業してください。事故に繋がる恐れがありますのでポールを取り扱う際は必ず周囲の安全を確認して作業してください。作業は必ず2人以上でおこなってください。
- ペグとロープでしっかりとシェルターを固定してください。
- 薄い生地を使用していますので、生地を引っ張りすぎると破損する恐れがあります。ご注意ください。
- 足もとのビルディングテープ、ロープやペグ等にはご注意ください。足を引っ掛けて転倒し、思わぬ事故の原因となります。
- ロープを正しく張ることでより風や雨に耐える強度を得ることができます。ご使用の際は取扱説明書(本書)に従い必ずすべてのロープを張ってください。
- シェルター本体やインナールーム内には小物を吊るすループが付いています。1kgを超えない範囲でご使用ください。

**各部の名称**

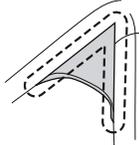


## 使用前の準備

縫製部分にはシームテープによる防水処理が施してありますが、本体のベンチレーション部やファスナー部、インナールームのボトムシートの一部は製造の都合上、または構造上、シームテープが施せない部分があります。通常の雨には十分対応できますが、長時間の大雨や横なぐりの雨、地面に雨水が溜まっているような状態では、縫い目から雨水が侵入することがありますので必要に応じて縫い目にシームグリップ剤(目止め液)を塗布してください。シームグリップ剤は縫い目に沿って表裏の両面からうすく塗布し、よく乾燥させてください。シームグリップ剤は時間とともに硬化します。剥離したときは塗布しなおしてください。下記の指定箇所以外の場所から雨水が侵入した場合も必要に応じて目止めを行ってください。



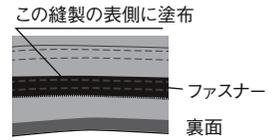
インナールームボトムのコ  
ーナー部すべてにシームグリップ  
剤を塗布してください。(4カ所)



ベンチレーション部の表と  
裏側にシームグリップ剤を  
塗布してください。(3カ所)



フラップ(裏にファスナー)  
表面  
ドアパネル側部のファスナー  
縫い付け部の表側にシームグ  
リップ剤を塗布してください。



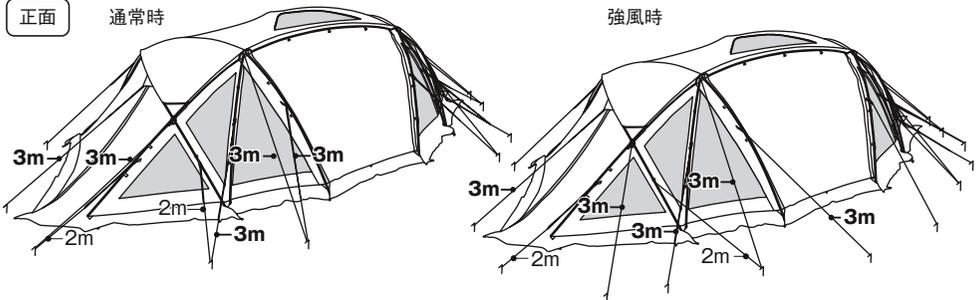
この縫製の表側に塗布  
裏面  
ファスナー  
本体天面のファスナーの表側に  
シームグリップ剤を塗布してく  
ださい。

## 初めてお使いになる前に

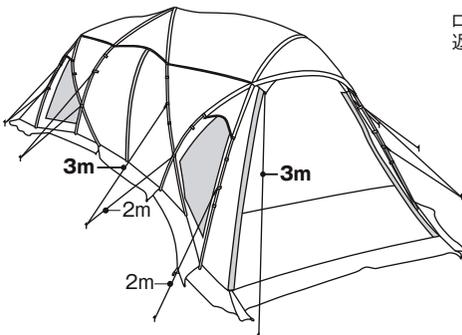
- 品質には万全を期しておりますが、お使いになる前に必ず試し張りを行い、付属品や設営道具を確認してください。万一不具合や付属品の欠品があった場合は、お買い求めになった販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

## 自在付ロープの取付け、ペグダウンの位置

正面のロープペグダウン位置は通常時と強風時の2種類あります。風の状態に合わせて張り方を変えてください。



背面 (背面の張り方は変わりません)

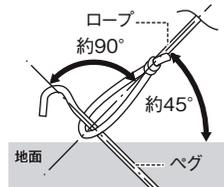


シングルロープの取り付け



ロープの自在が付いて  
いる返し部分が○リン  
グ側に来るように取り  
付けてください。

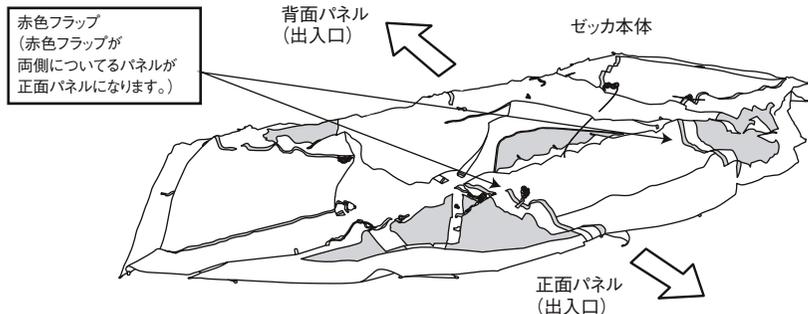
ペグダウンの方向



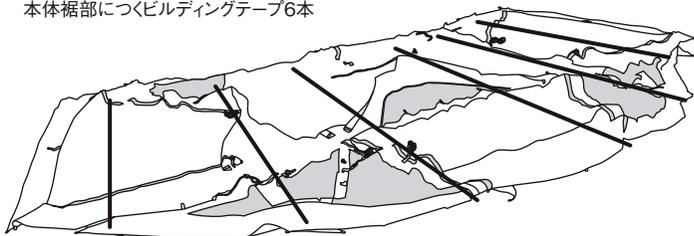
[ロープへのペグダウン]  
ペグダウンはテントからできるだけ遠くに行ってください。設営したとき、ロープの角度が地面に対して約45°となるのが理想的なペグダウンの位置です。また、ペグを打ち込む角度はロープに対して90°になるようにペグダウンしてください。

**設営の手順** より安全に設営するためにも必ず2人以上で設営してください。

- ① 本体を設営する平坦な場所に広げてください。その時正面パネル、背面パネルの向きを考慮して広げてください。  
※ビルディングテープ6本すべてのバックルが接続されている事を確かめてください。もし外れている場合は設営前に必ず接続をしてください。

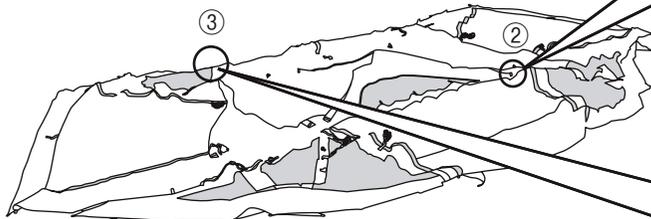
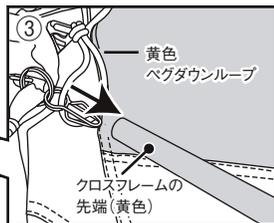
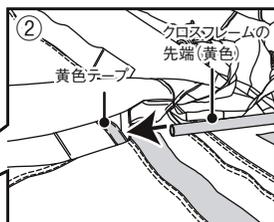


本体裾部につくビルディングテープ6本

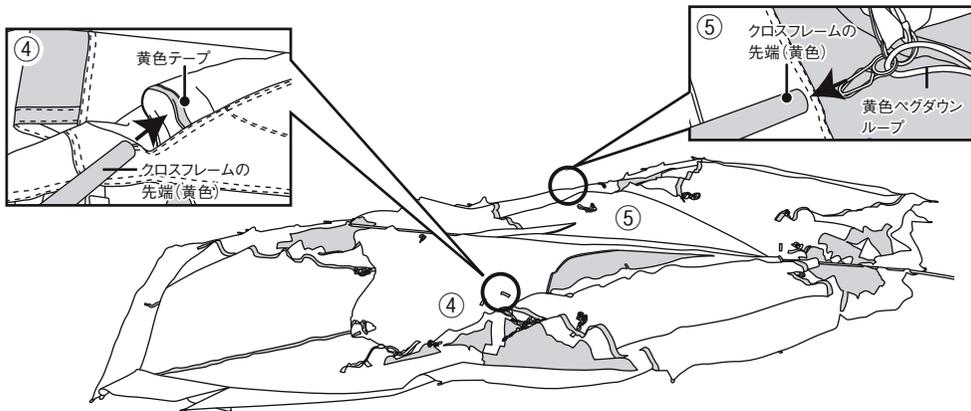


- ② クロスフレーム(端部が黄色とグレー色のフレーム)を黄色テープがついているスリーブに入れてください。クロスフレームの先端(黄色)と、スリーブのテープの色(黄色)が合っているか確認し、クロスフレームの節を繋げながらスリーブに通してください。  
※この際フレームの先端(グレー色)を入れないよう、フレームの前後に注意して下さい。

- ③ 黄色ベグダウンループが付いたリングピン(背面パネル側)をクロスフレームの先端(黄色)に差し込んでください。  
※スリーブにフレームを入れる際は、フレームを「押し入れて」ください。フレームを引っ張るとフレームの接続部がスリーブの中で抜け、生地を噛んでしまいますのでお止めください。



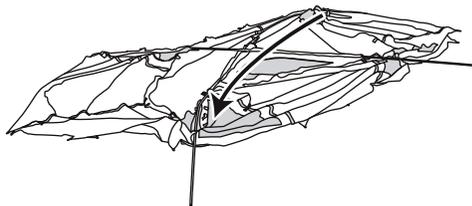
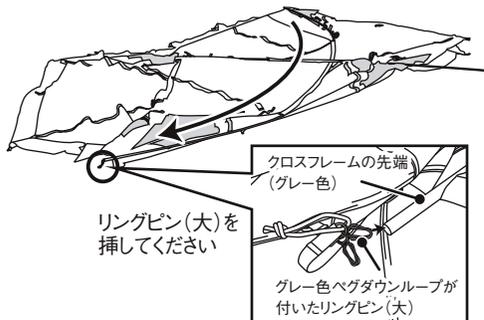
- ④ ②同様に、もう一本のクロスフレームを黄色テープがついているスリーブに入れてください。
- ⑤ ③同様に黄色ベグダウンループが付いたリングピン(背面パネル側)をクロスフレームの先端(黄色)に差し込んでください。



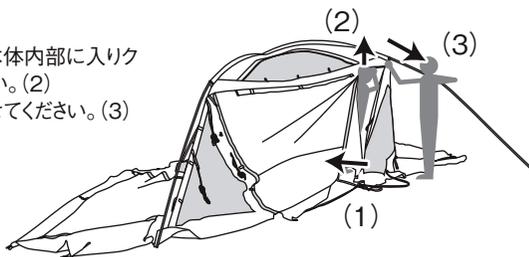
- ⑥ 本体を寝かせた状態で、交差しているクロスフレームの下側のフレームの先端(グレー色)に、グレー色ベグダウンループが付いたリングピン(大)を差し込んでください。  
※このコーナーにはサイズの異なるリングピンが2個付いています。大きい方に差し込んでください。  
※リングピンをフレーム端部に入れる時は、フレーム端部をしっかりと持ち、指をはさまないように気をつけながら差し込んでください。

○ フレームが正面パネル側に湾曲するようにしらせてください。

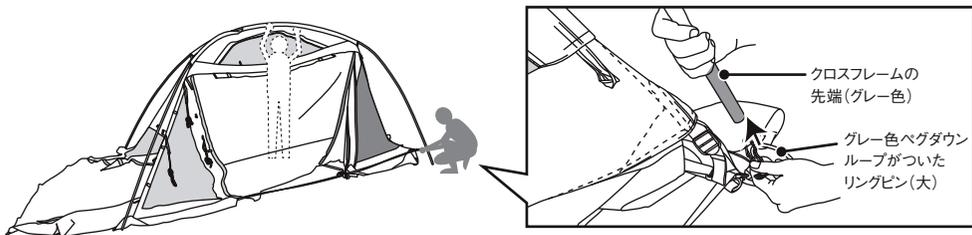
✕ 後ろ向きにフレームをしならせた場合はフレームがリングピンに接続できません。



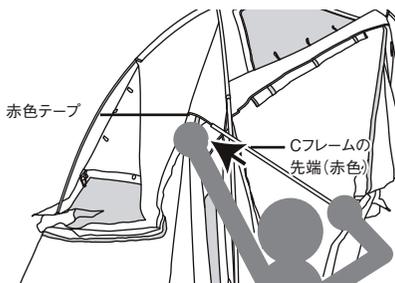
- ⑦ フロントパネルのジッパーを開け(1)、一人が本体内部に入りクロスフレームの交点を下から持ち上げてください。(2) その間にもう一人がスリーブを手前に引き寄せてください。(3)



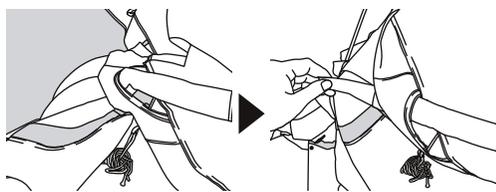
- ⑧ クロスフレームの先端(グレー色)に、グレー色ベグダウンループが付いたリングピン(大)を差し込んでください。差し込む前にスリーブをしっかりと手前に引き寄せるとリングピンに差し込みやすくなります。



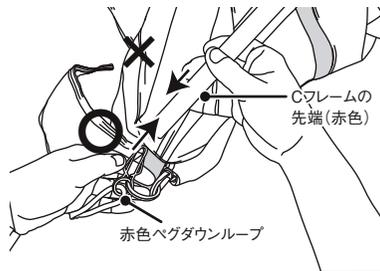
- ⑨ Cフレーム(端部が赤色と黒色のフレーム)の先端(赤色)と、スリーブの赤色テープ(正面パネル側)を合わせるように、フレームを少しずつ継ぎ、スリーブに通してください。背面のリングピンを差し込みやすい位置にフレームの先端(赤色)がくるまで押し入れてください。



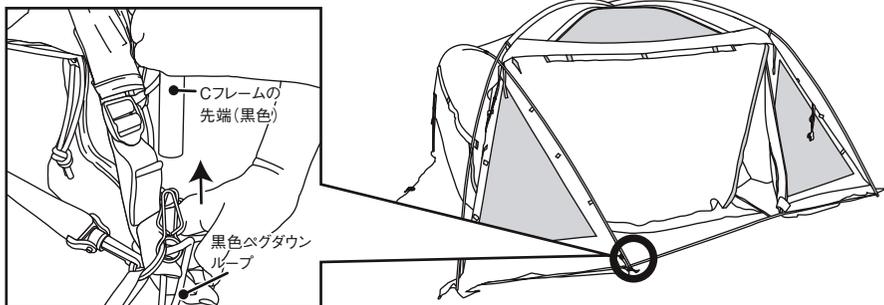
フレームをスリーブに通す際は図の様にスリーブの交差点でフレームが引っ掛らないよう外側のスリーブをくぐらせて通してください。



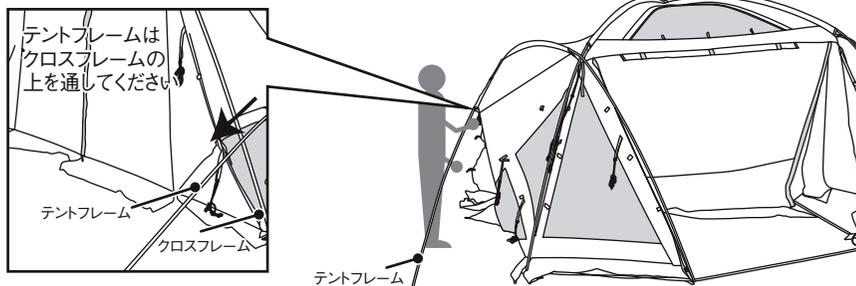
- ⑩ 背面側に移動し、赤色ベグダウンループが付いたリングピンをCフレームの先端(赤色)(背面パネル側)に差し込んでください。このとき節が確実に繋がるようにピンをフレームに挿してください。フレームを引っ張るとフレームの節が外れ、製品破損に繋がります。ご注意ください。



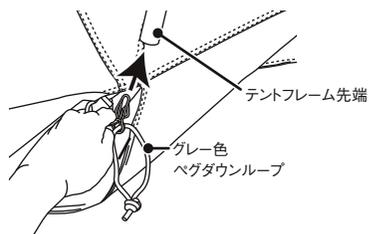
- ⑪ 正面側に移動し、黒色ベグダウンループが付いたリングピンをCフレームの先端(黒色)に差し込んでください。



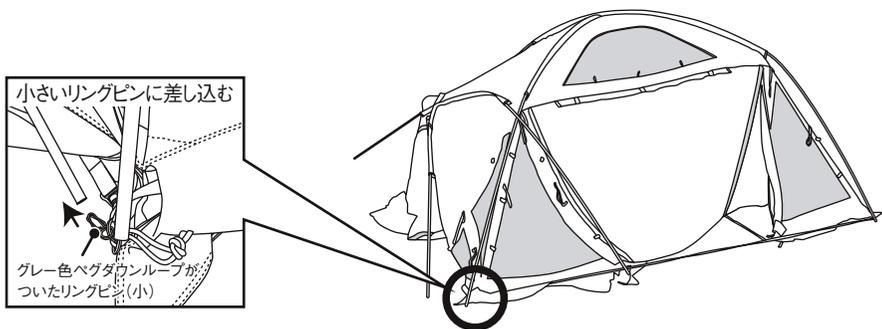
- ⑫ テントフレームの先端(無色)を少しずつ継ぎ、グレー色テープが端部についているスリーブに通してください。その後、背面のリングピンに差し込みやすい位置にフレームの先端がくるまで押し入れてください。  
※テントフレームに前後はありません。



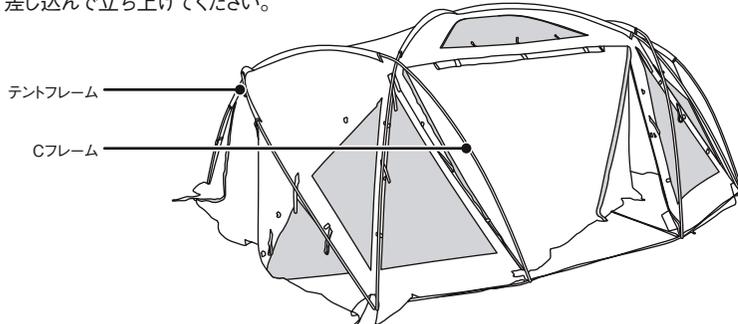
- ⑬ 背面側に移動し、グレー色ベグダウンループが付いたリングピンをテントフレームの先端に差し込んでください。



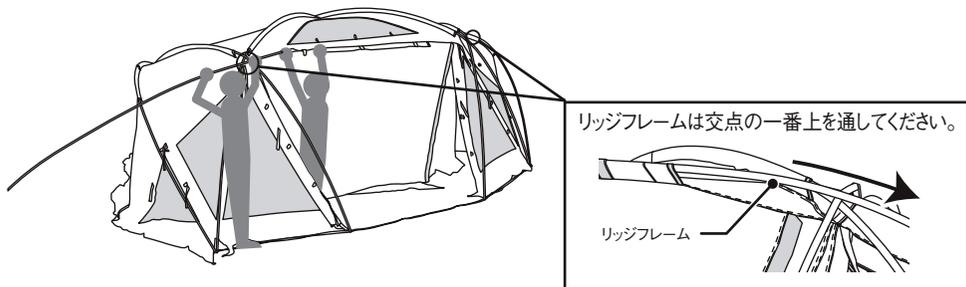
- ⑭ 正面側に移動し、グレー色ベグダウンループが付いたリングピン(小)テントフレームの先端(正面パネル側)に差し込んでください。



- ⑮ ⑨～⑭同様に、もう片方のCフレーム、テントフレームもスリーブに通し、フレームの端部をリングピンにそれぞれ差し込んで立ち上げてください。



- ①⑥ リッジフレームの先端(紺色)とスリーブのテープの色(紺色)が合っていることを確認し、リッジフレームをスリーブに差し込んでください。  
 ※リッジフレームに前後はありません。  
 リッジフレームの節を少しずつ継ぎながらスリーブに通してください。



- ①⑦ 次に紺色ベグダウンループが付いたリングピンをもち、リッジフレームの先端(紺色)に差し込んでください。

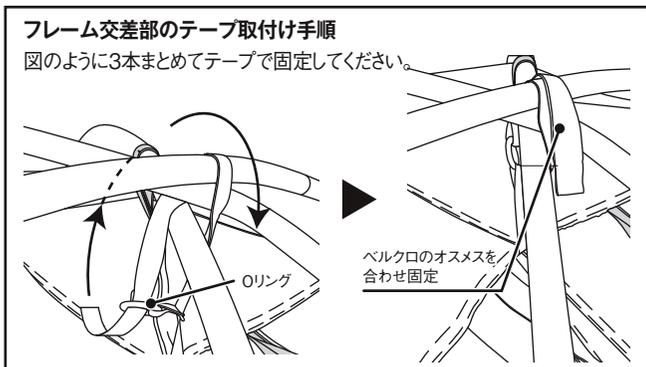
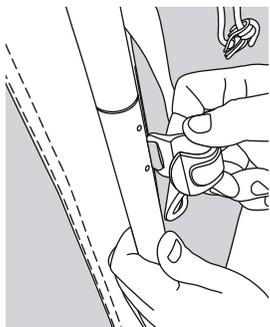
このときフレームを引っ張らずに、リングピンをフレーム先端に差し込んでください。フレームを引張るとフレームの節が外れ、製品破損に繋がります。ご注意ください。



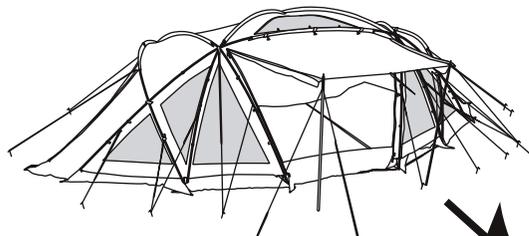
- ①⑧ 節が隙間なく確実に繋がっていることを確認した後、反対側も同様に紺色ベグダウンループが付いたリングピンをリッジフレームの先端(紺色)に差し込んでください。



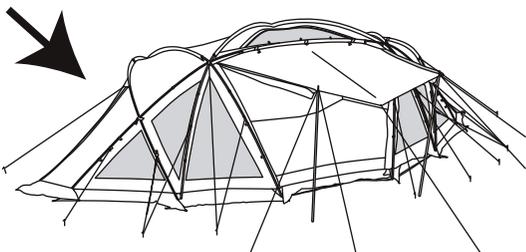
- ①9 クロスフレーム/Cフレーム/テントフレームにプラスチックフックを掛けてください。また、フレームの交差部はベルクロ付きテープをOリングに通して固定してください。



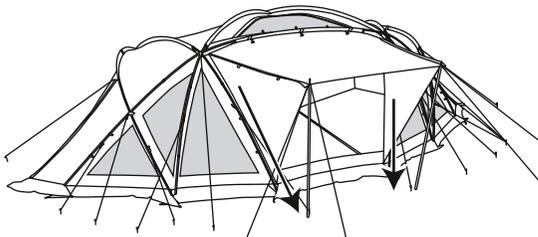
- ②0 P03の【自在付きロープの取付け、ベグダウンの位置】の図のように、裾部リングピンに付いているベグダウンループにジュラルミンベグを通し、ベグダウンをしてください。また、付属の張り綱ロープも、しっかりベグダウンしてください。正面パネルを張り出す場合は別売のアップライトポール(TP-080)またはウイングポール210cmを使い付属の二又のロープで立ち上げてください。シワが残らない様にロープの方向を調整してください。



注) 降雨時のドアパネルは水が溜まりやすくなりますのでポールを斜めに倒し勾配をつけるか、正面パネル中央にロープつけ引張り、ベグダウンすることで大きくV字をつくり水の逃げ道をつくり溜まらないようにします。



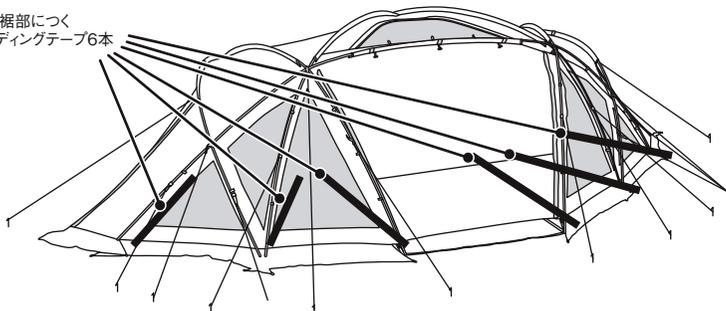
必要に応じてサイドウォールのジッパーを開けてください。



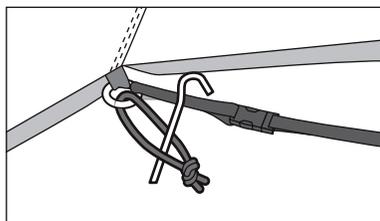
## ビルディングテープをはずす場合

お子様などがビルディングテープに足を引掛けることを防ぐため、ビルディングテープをはずすことがあります。ビルディングテープをはずすとシェルターの強度はさがるため、基本的にはビルディングテープははずさないでください。

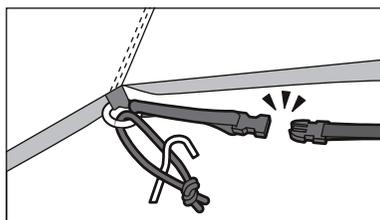
本体裾部につく  
ビルディングテープ6本



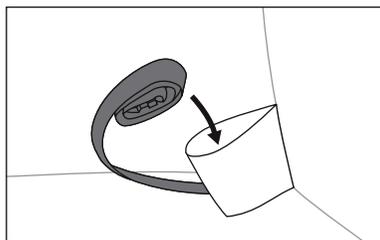
- ① ビルディングテープを外した際、シェルターが外側へ広がるのを防ぐためベグダウンループを固定しているベグを本体外側から内側へ打ち換えてください。



- ② ベグを内側へ打ちかえたことを確認し、ビルディングテープを外してください。

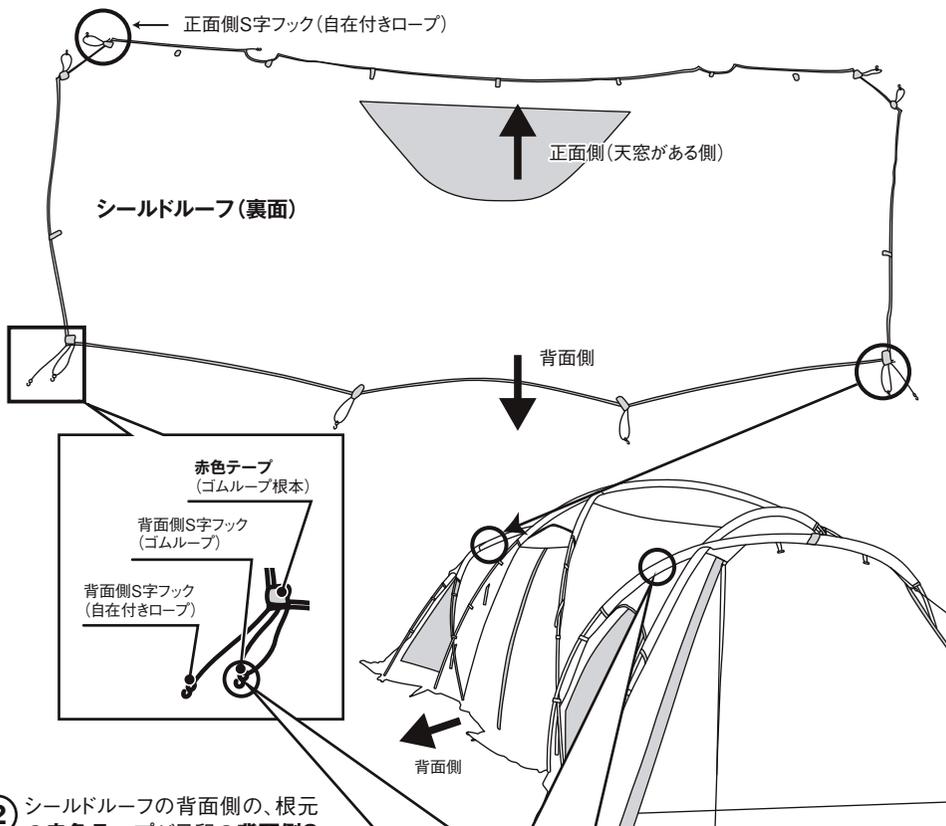


- ③ はずしたビルディングテープを丸めて、収納ポケットへ入れてください。  
※撤収する前にはビルディングテープを再度接続してください。ビルディングテープをはずしたままだと次回の設営ができません。

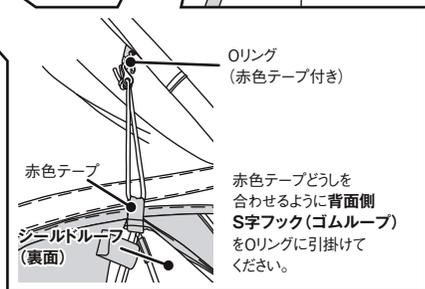


## シールドルーフの取付け

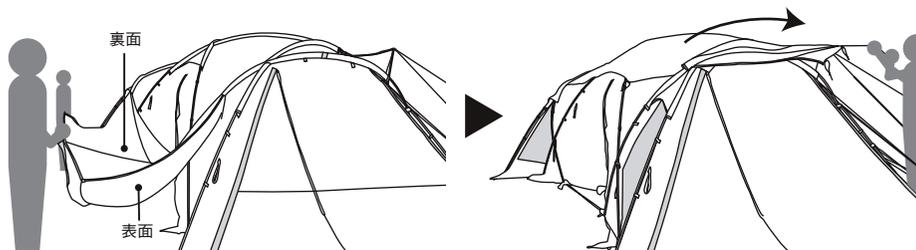
- ① シールドルーフを本体の背面に広げ前後を確認してください。(左右対称)  
PUコーティング面(てかりのある面)が裏面になります。下記図はPUコーティング面が見えている裏面の状態です。



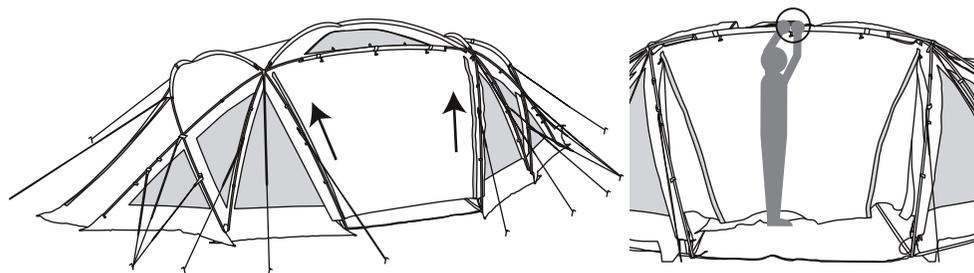
- ② シールドルーフの背面側の、根元の**赤色テープ**が目印の**背面側S字フック(ゴムループ)**を、ゼッカ背面のテントフレームが通るスリーブについている**Oリング(赤色テープ付き)**に引掛けます。反対側も同様にS字フックを引掛けてください。



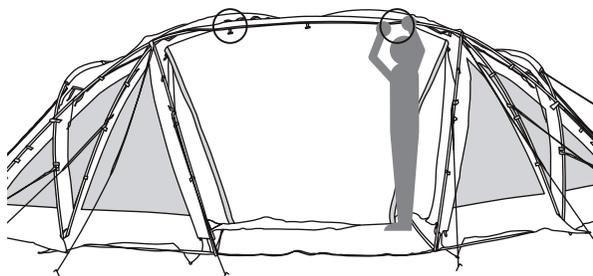
- ③ シールドルーフ正面側S字フック(自在付きロープ)を二人で持ち、ゼッカ本体の天面にシールドルーフを被せてください。



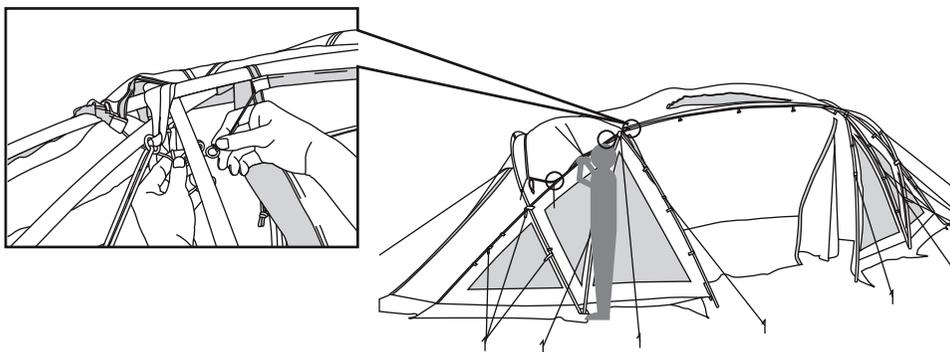
- ④ シールドルーフを取付けやすいよう正面パネルのジッパーを開けてください。  
シールドルーフの正面側中央の黒色ベルクロテープ(オス)を、リッジポールスリーブ中央の黒色ベルクロテープ(メス)に取付けてください。



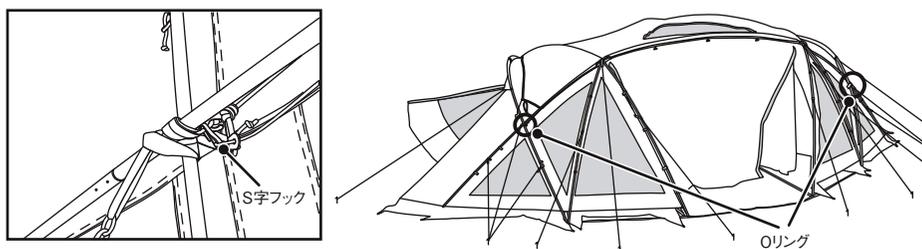
- ⑤ シールドルーフの正面側両サイドの黒色ベルクロテープ(オス)を、スリーブ両サイドの黒色ベルクロテープ(メス)に取付けてください。



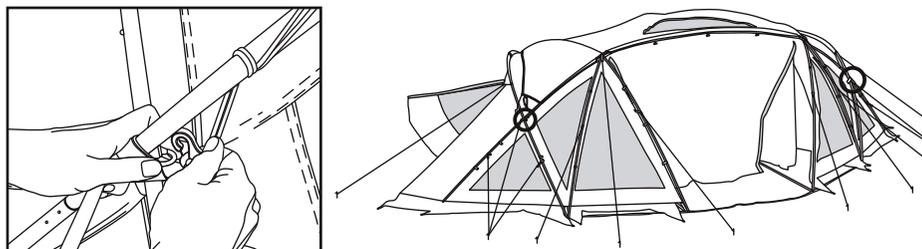
- ⑥ リッジフレームとCフレーム、テントフレームが3本交差する箇所の下を潜るようにシールドルーフのOリングとS字フックを取り付けます。取付けたらシールドルーフ裏側についている赤色ベルクロテープをリッジフレームに巻き付けてください。



- ⑦ シールドルーフ正面側のS字フック(自在付きロープ)をテントフレームとの交点についているOリングに引掛けます。引掛けたら反対側も同様に⑦⑧の手順を行ない、両側の自在を引きテンションを掛けます。



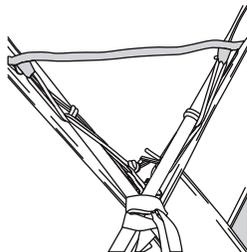
- ⑧ ゴムループ付きのS字フックを同じOリングに引掛けます。このときリッジフレームに一度ゴムループを回した後OリングにS字フックを取付けてください。反対側も同様に取付けてください。



- ⑨ テントフレームが通るスリーブ中央の黒色ベルクロテープに、シールドルーフの赤色ベルクロテープを取り付けてください。  
その後シールドルーフ裏面の赤色ベルクロテープをテントフレームに巻き付け、自在付きロープについているS字フックを交点のリングに取付け、自在を引張り、調整してください。



- ⑩ 最後にシールドルーフ背面側の各ベルクロテープをフレームに取りつけたうえで、背面側の自在付きロープ、ゴムループのフックを、フレームの延長線上のリングやテープに引掛けてください。



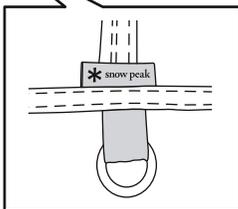
## インナールームの取付け

グランドシート、インナールームはゼッカ本体の左右両側のどちらにでも取り付けることができます。本書では右側に取りつける方法で説明します。

- ① グランドシートを広げ、PUコーティング面(てかりのある面)が上になるようにし、織ネームタグが室内側になるように広げてください。



- ② インナールームを広げロゴが印字される箇所を前にして広げてください。

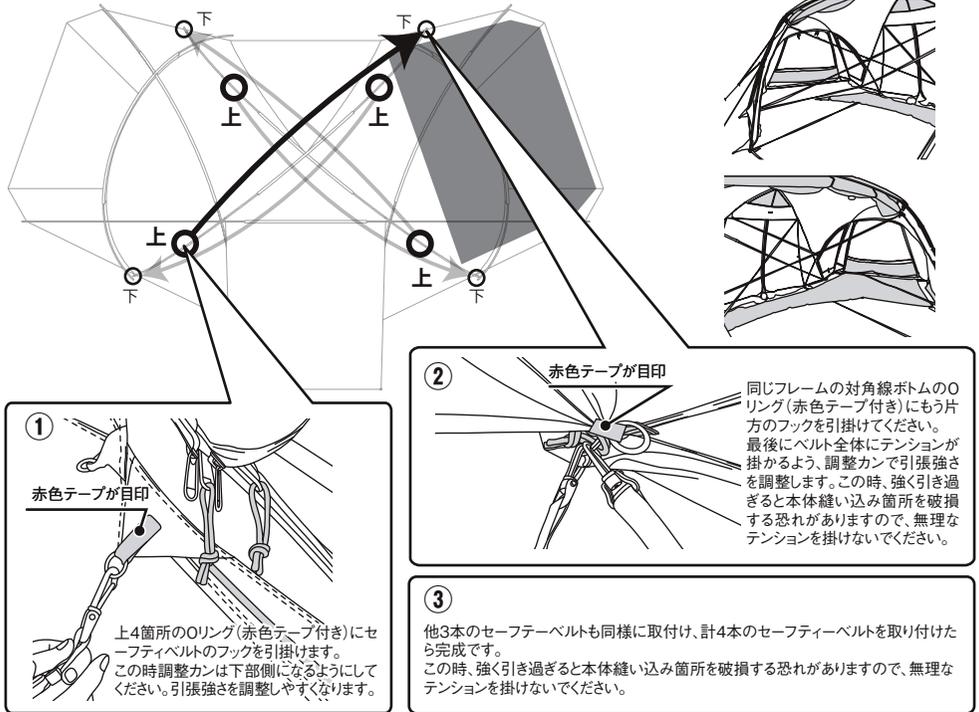




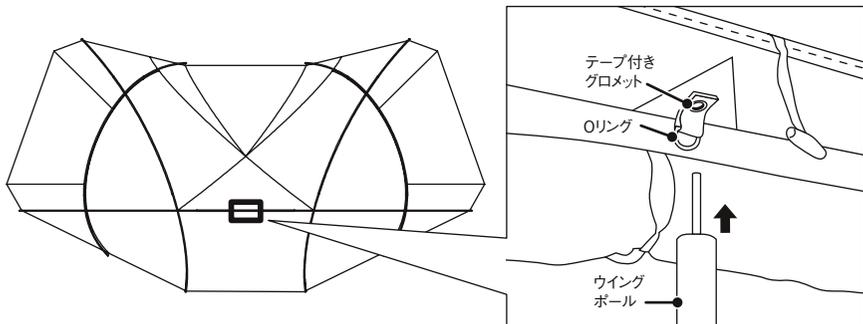
## セーフティーベルトの活用

本製品には、強風時に側面からの風に対して安定性を保つセーフティーベルト、セーフティリングを備えています。クロスフレーム内側に下図のようにセッティングしてください。

■あくまでも補助対策です。あらゆる悪天候に耐えられるものではありません。一時的な強風時や、即座に撤収が困難な場合にのみご使用ください。セーフティリングに体重をかけるなどしないでください。シェルター倒壊の恐れがあります。



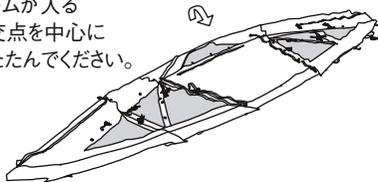
追加補助対策としてセーフティーベルトでのセッティングでも不安な場合は、リッジポールスリーブ中央近くにあるテープ付きグロメットにウイングポール210cmの先端を挿して、テープ付きグロメットについているOリングに手持ちの自在付きロープを取付け、ロープを地面にベグダウンしてください。



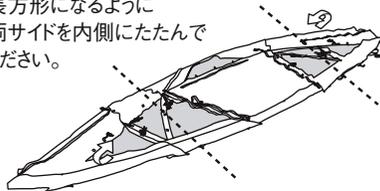
## 撤収の手順 (必ず2人以上で撤収してください)

撤収は設営と逆の手順で行ってください。インナールームの中、本体の中にもが入っていないことを確認してから作業を開始してください。インナールームやシールドルーフ、グランドシート、フレームは本体から取りはずし、インナールームの出入口のファスナーを少し開いておくと巻き取りやすくなります。

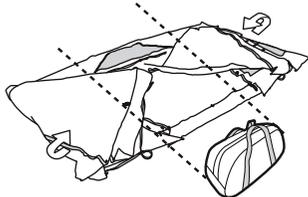
- ①クロスフレームが入るスリーブの交点を中心に2つ折りにたたんでください。



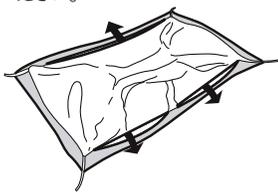
- ②長方形になるように両サイドを内側にたたんでください。



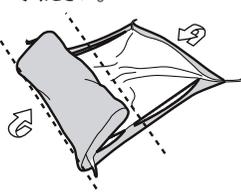
- ③長方形になった本体(フライ)をキャリアバッグサイズに入る幅にたたんでください。



- ④インナールームドアパネル下部のファスナーを空けておいてください。



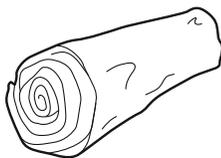
- ⑤本体(フライ)同様に、キャリアバッグサイズに入る様にたたんでください。



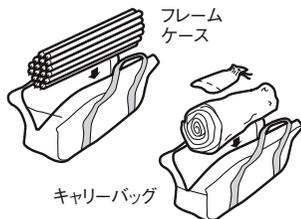
- ⑥ケース幅になった本体(フライ)を裾部に向かって空気を出す様に巻いていきます。インナールームは④で開けておいたファスナーに向かって、空気を出す様に巻いてください。



- ⑦本体(フライ)とインナールームをまとめてください。

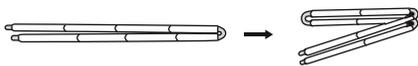


- ⑧フレームは、フレームケースへ、本体(フライ)とインナールーム、ペグ等はキャリアバッグへそれぞれ収納してください。



## 撤収・収納時の注意事項

- 十分に乾燥してから収納してください。
- 強風時は、風が収まるのを待ってから撤収してください。
- インナールームを取り付けた場合や、別のテント/タープ等を併用していた場合は、必ずインナールームや併用していた製品を本体から取りはずしてから撤収をはじめてください。
- シェルターの中に何も入っていないこと、すべてのパネルや窓部のファスナーが閉まっていることを確認してから撤収をはじめてください。
- 撤収の前にすべてのヒルディングテープが接続されていることを確認してください。次回設営時にペグダウンしやすくなります。
- フレームは必ず毎回中央付近から折りたたんでください。端から折りたたむとフレーム内部のショックコードの伸びや切れ、フレームの曲がりや折れの原因になります。
- ペグはすべて抜き、汚れを落としてペグケースに頭を下に向けて収納してください。フレームはすべてフレームケースに収納してください。むき出しの状態での収納すると、本体生地やキャリアバッグ等を傷付けることがあります。



## 結露について

空気中に含まれている水分が急激に冷やされて霧状になったものが結露として現れます。特に狭いテント等の空間では、通常の室内よりも水蒸気の濃度が高くなり、結露の発生する確率が高くなります。原因としては、人体構成要素の約60%を占める水分が、呼吸や汗などにより放出され、水蒸気となりテント内に結露が発生します。テント内では、特にフライシート・ポトム部分などの防水性能が高い部分に結露が発生しやすくなります。結露は優れた透湿防水素材でも使用状況により完全に防ぐことは不可能です。ご使用中は結露軽減のために適時換気を行ってください。

## 撥水・防水性能について

- 本製品はいずれの生地にも高性能の撥水加工を施していますが、生地の特性上、撥水性能(撥水の仕方や耐久性)に若干の差が見られる場合があります。また、ご使用を重ねますと撥水性能が低下する場合があります。性能が低下した場合は市販の撥水スプレー等を、それらの説明書をよくお読みの上ご使用ください。
- 防水性の高い生地を使用しておりますが、地面の水溜りなどへ長時間接触していると雨水が浸み込む場合があります。
- 農薬などでPUコーティングが破壊され耐水圧が異常低下してしまう場合があります。この症状と判断された場合、製品の保証が出来なくなりますのでご注意ください。
- 撥水剤の影響によりロゴマークが剥離する場合があります。

## 紫外線の影響について

- 本体の生地にはUVカット加工を施しています。  
※UVカット加工は、紫外線による人体への影響や、素材劣化を防止するものではありません。
- シェルターの素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度低下を起こしますので、常設用として使用しないでください。
- 紫外線の影響と思われる素材の劣化により、耐久度合いを超えたものは弊社でも修理できない場合があります。

## メンテナンス・保管

- 本製品はポリエステル生地を組み合わせで使用しています。生地の特性を考慮し、できる限り色移りし難い加工と配色パターンを採用していますが、保管状態などにより、色移りが発生する場合があります。ご了承ください。また、濡れたままの保管は避けてください。
- 濡れたまま保管すると、カビや悪臭、生地の色移り、生地の劣化などのトラブルの原因になりますので、使用後は風通しの良い日陰で十分に乾燥し、柔らかいブラシなどで泥汚れを落としてから保管してください。
- フレームを通した状態のまま逆さまにしないでください。フレーム折損や生地損傷の原因になります。
- フレームは表面の汚れを落とし、十分に乾燥させてから保管してください。濡れたまま保管すると腐食、強度が低下します。ジョイント部分は常に清潔にし、少量のシリコン系潤滑剤を薄く塗布してください。塗布し過ぎると生地に油シミができますのでご注意ください。また、フレーム内部のショックコードは不必要に引っ張らないでください。
- フレームを収納する際は、中央を意識しながら折り畳んでください。
- 高温多湿を避け、直射日光の当たらない風通しのよい場所に保管してください。
- ファスナーに泥や砂、ホコリなどが付着したまま使用すると摩耗し破損の原因になりますので、ブラシなどを使い常に清潔にしてください。また、スライダの動きを滑らかにするために、少量のシリコン系樹脂剤を定期的に塗布してください。塗布し過ぎると生地に油シミができますのでご注意ください。
- 小さな生地の破損は市販のリペアテープで補修できます。補修の際はリペアテープの説明書をよくお読みください。
- ご使用により広範囲にわたり素材が劣化し、耐久度合いを超えたものは修理できない場合があります。
- シームテープはPUコーティングが痛まない程度の温度設定で圧着されていますが、使用を重ねるにしたがい剥離してしまう場合があります。剥離が確認された場合は、アイロンを低温に設定し、剥離箇所のみを再度圧着してください。熱を掛け過ぎた場合生地が変色したり劣化が促進されますのでご注意ください。シームテープは無理やり剥離させないでください。PUコーティングが一緒に剥離された場合、修理できなくなる可能性があります。
- 樹液が付着してしまうときれいに除去することはできません。樹液が垂れそうな木の下を避けて設営してください。溶剤などにより無理に除去すると生地やコーティングを傷めます。
- 使用する際にフレームが折れてしまった場合は、応急処置として速やかに添え木をあて、ビニールテープなどで固定するか、撤収をしてください。
- 次回のキャンプに備え、上記の通り、十分に保守、点検をしてください。



## 品質保証について

お買い求めいただきました製品は万全を期していますが万一不備な点がございましたら、お買い求めの販売店または弊社までご連絡ください。製造上の欠陥が原因の場合は無償で修理または交換させていただきます。その他の場合は適正な価格で修理させていただきます。修理・交換の判断は弊社の裁量によるものとさせていただきます。また、以下の場合には保証、修理できない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

1. 取扱説明書に従わなかったと判断した場合。
2. 素材の経年劣化による製品の寿命。
3. 改造及び粗雑な扱いによる製品の故障。
4. 不測の事故による製品の故障。
5. その他製造上の欠陥以外による製品の故障。
6. ゴミやサビによる故障。
7. 分解したことによる不具合の発生または破損。
8. 落下やその他の衝撃による部品の変形や破損による不具合。
9. 消耗品の劣化、破損、故障及び付随する不具合。
10. 他社製品との組合せによる故障。

## 修理について

- 本格的な修理が必要な場合は、お買い求めになった販売店または弊社ユーザーサービス係までお問い合わせください。
- 修理を依頼される場合は、必ず十分に乾燥させ、汚れをきれいに落としてください。
- 修理品には修理箇所がはっきりと解るように、必ずメモまたは荷札を付けてください。また破損時の状況をできるだけ詳しく書いたメモを添えてください。
- 修理品の運賃並びに修理費については以下のように規定させていただきます。
  - 1.保証対象の場合：往復運賃並びに修理費は弊社にて負担いたします。
  - 2.保証対象以外の場合：往復運賃並びに修理費は、お客様のご負担とさせていただきます。

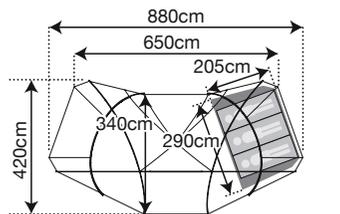
## スペック

○セット内容：本体、インナールーム、シールドルーフ、グランドシート、クロスフレーム(×2)、Cフレーム(×2)、テントフレーム(×2)、リッジフレーム(×1)、ジュラルミンベグ(×34)、自在付きロープ(2m×8、3m×14、二又用7m×2)、セーフティベルト(×4)、キャリアバッグ、フレームケース、ベグケース、シムグリッパ剤

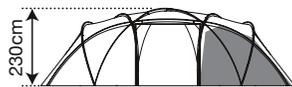
○材質：本体ルーフ部 / 150Dポリエステルオックス・PUコーティング・耐水圧1,800mmミニマム・テフロン撥水加工・UVカット加工  
本体ウォール部 / 150Dポリエステルオックス 耐水圧1,800mmミニマム・テフロン撥水加工・UVカット加工、シールドルーフ / 75Dポリエステルタフタ・遮光ビグメントPUコーティング耐水圧3,000mmミニマム・テフロン撥水加工・UVカット加工  
インナールーム(ウォール) / 68Dポリエステルタフタ  
インナールーム(ボトム) / 210Dポリエステルオックス・PUコーティング耐水圧1,800mmミニマム、グランドシート / 210Dポリエステルオックス、PUコーティング耐水圧1,800mmミニマム、フレーム / A6061 (Φ16mm、Φ17.5mm、Φ19mm)

○キャリアバッグサイズ：本体 / 92×35×40 (h) cm、フレームケース / 73×21×26 (h) cm

○重量：30kg



(インナールーム室内高 170cm)



(室内高 220cm)

不明な点やお気付きの点がございましたら、販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

**スノーピークユーザーサービス**  
☎ 0120-010-660 (9:00~17:00)  
Email: userservice@snowpeak.co.jp

株式会社スノーピーク

〒955-0147 新潟県三条市中野原456  
Tel. 0256-46-5858 / Fax. 0256-46-5860  
www.snowpeak.co.jp

Product Manual : Ver 2.00

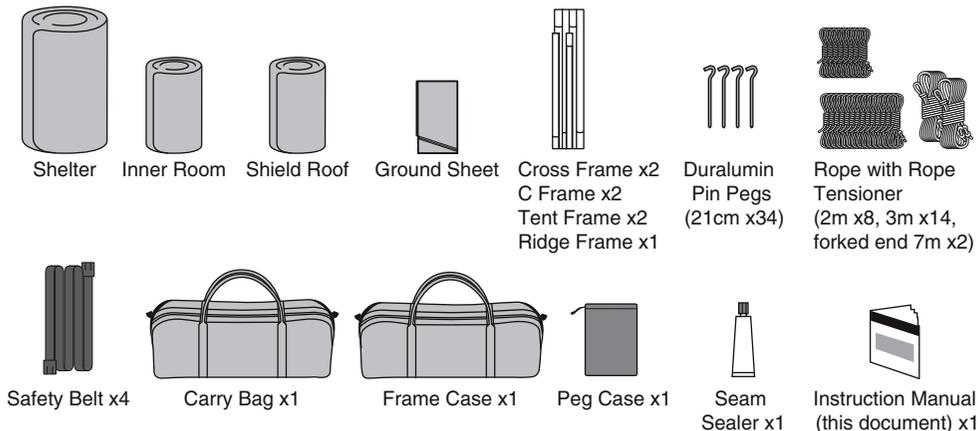
**TP-710**

**Zekka**



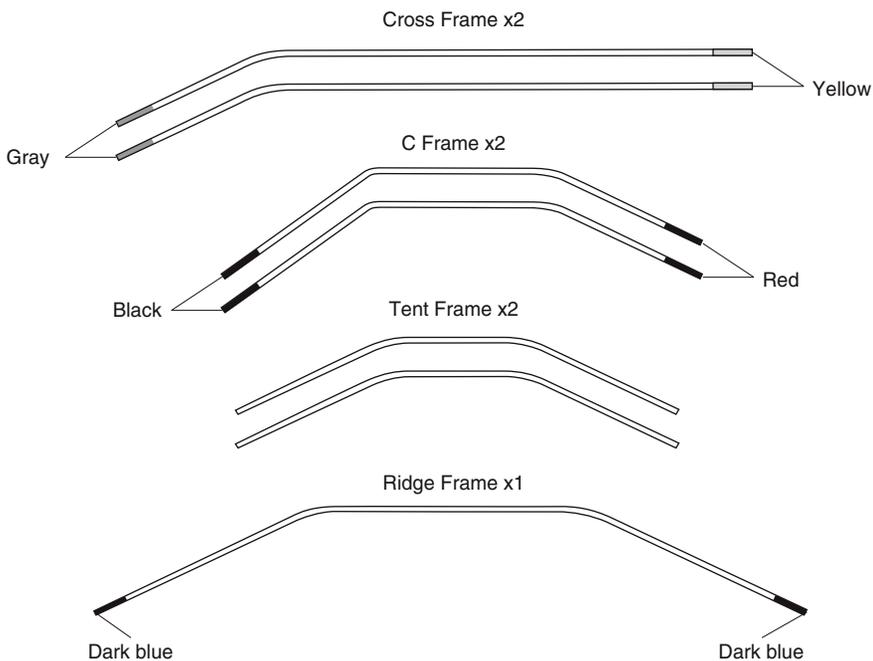
Thank you for purchasing this Snow Peak Product. This product is a shelter designed for camping. To ensure your safety when using this product, please read these instructions carefully before use. Please be sure to keep this manual in a safe place for future reference. If you find anything in the instruction manual that is difficult to understand, or if you find a defect with the product, stop using it immediately and contact the dealers where you purchased the product or Snow Peak Customer Service.

**Contents** \*Check that all parts are included before use.



The contents are designed for setup in normal conditions. You can prepare separate sturdy, long pegs or rope for setup in a wider range of conditions. The pegs, ropes, and tensioners are consumable items that wear out over time, so we recommend carrying spares.

**Frame components**



**Safety precautions before use** Please read thoroughly to ensure safety and avoid accidents.

**⚠ DANGER** Misuse could easily result in a serious accident or death.

- The material of this shelter is not flameproof. Do not use combustion-based heat sources such as lanterns, stoves, or heaters, or open flames such as matches, candles, lighters, or cigarettes, inside the shelter. The use of such heat or light sources inside a small enclosed space is hazardous and may result in fire, oxygen deficiency, or carbon monoxide poisoning.
- Do not keep fuel, or flammable items for replenishing the fuel, inside the shelter.



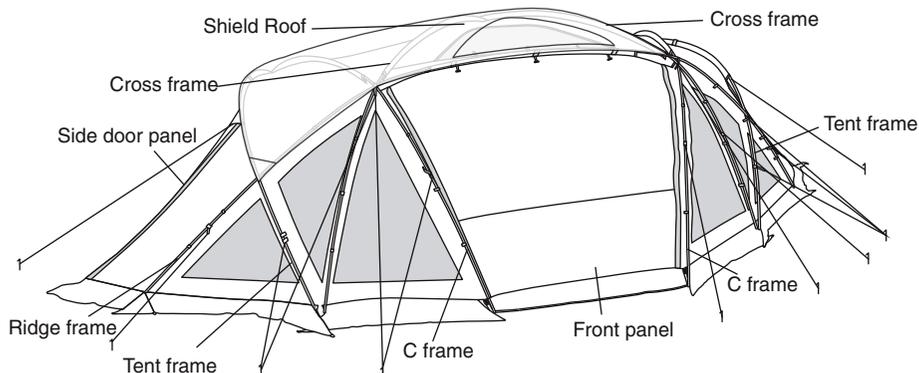
**⚠ WARNING** Improper use may result in death or serious injury.

- Before using the product, check each part for abnormalities. If there are abnormalities, take the product to the dealer or Snow Peak Customer Service for inspection or repair.
- Pay close attention to the weather. If extreme weather is in the forecast, pack up camp and evacuate to a safe place.
- Do not bring heated items into the tent when they are at high temperatures. Inside the tent, very high temperatures may cause heatstroke or fire.
- The temperature inside the shelter will be high during warm weather, and there is a risk of heatstroke. Pay close attention to the temperature, particularly when children are asleep inside the shelter.
- Choose a flat, well-drained area with firm ground to pitch the tent. Choose a place with no chance of avalanches, landslides, wind gusts, or sudden flooding.

**⚠ CAUTION** Misuse could result in injury to the user and/or property damage.

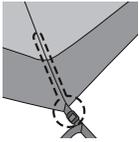
- This product is not intended to be in permanent use. If the shelter is left in the sun for long periods, the materials may fade in color, or the fabric may deteriorate and lose strength. Do not leave the shelter set up permanently.
- Sunlight can cause the surface of the shelter to heat up, potentially causing low-temperature burns.
- Do not assemble or use the shelter close to a bonfire, fireworks, etc. Flying sparks can create holes in the fabric.
- Firmly hold the shelter when assembling and disassembling. Unexpected accidents may occur due to the pole ends recoiling, etc., so ensure that the surroundings are safe, with no other people in the vicinity. Always assemble/disassemble this product with two or more people.
- Firmly secure the pegs, guy lines, etc.
- Because this product uses a thin fabric, it may break if you pull the fabric too much.
- Please pay attention to the building tape, rope, and pegs at your feet. You may catch your foot and fall, leading to an unexpected accident or injury.
- This product is not a self-supporting shelter. To withstand the wind and rain, it's important to tighten all the ropes following the instructions outlined in this manual.
- The inner room has a loop for hanging small items. Please only hang items that weigh less than 1kg (2.2lbs).

**Part names**

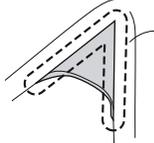


## Preparations before use

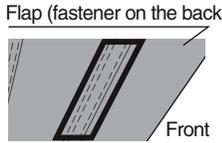
Waterproofing treatment with seam taping has been applied to the stitching of the shelter. However, the ventilator and fasteners on the shelter and a part of the bottom sheet of the inner room cannot be applied with seam tape due to their inherent design. Though capable during periods of normal rain, long spells of heavy or driving rain or prolonged contact with water pools on the ground may result in the penetration of water along the stitching. In such cases, the application of a seam sealer is recommended. Apply the seam sealer lightly on both sides along the stitching and dry completely. The seam sealer will cure with time. As the seam sealer wears off, re-apply as necessary. We do not provide a sealing service. However, to maintain the tent in its best condition, application of seam sealer by the user is highly recommended.



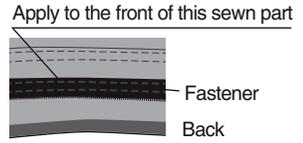
Apply the seam sealer to the bottom corners of the inner room. (4 locations)



Apply the seam sealer to the front and back of the ventilator. (3 locations)



Apply the seam sealer to the front of the fastener sewn part on the door panel side.



Apply the seam sealer to the front of the fastener on the ceiling of the shelter.

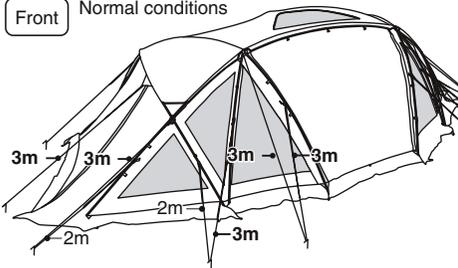
## Before using for the first time

- Please check that all accessory items are included before attempting to assemble the product—practice assembling and handling the product in a safe location before using it while camping. In the unlikely event that there is a problem or a missing accessory, please contact the dealer where you purchased the product or Snow Peak Customer Service.

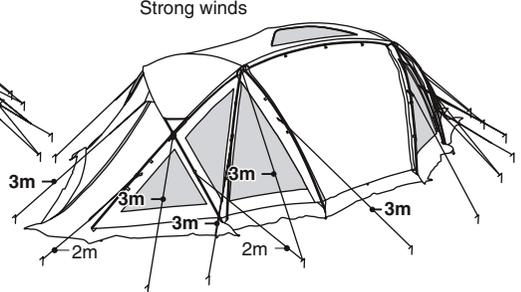
## Attaching the rope with rope tensioner, peg down position

There are two types of rope peg down positions on the front for normal and strong winds. Change the tension according to the wind conditions.

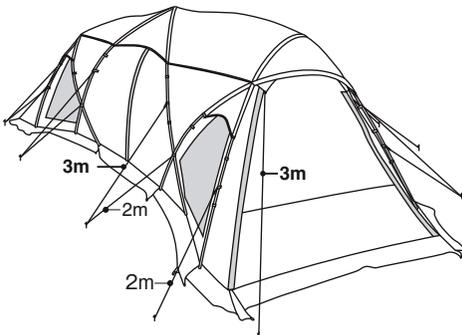
Front Normal conditions



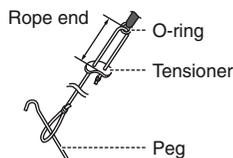
Strong winds



Back (same tensioning for the back)

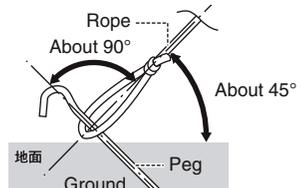


Attaching single rope



Attach so that the end with the rope tensioner is on the O-ring side.

Peg down direction

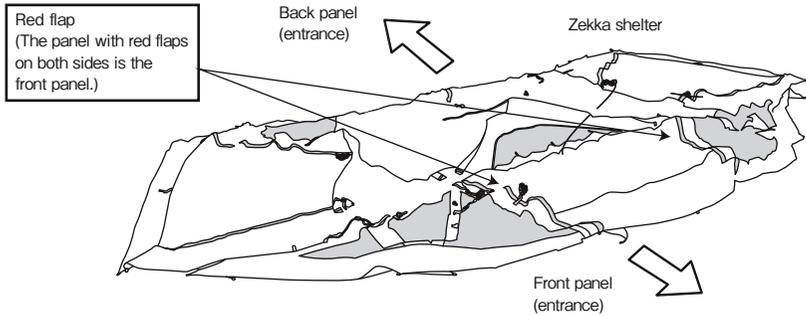


[Pegging down the rope]

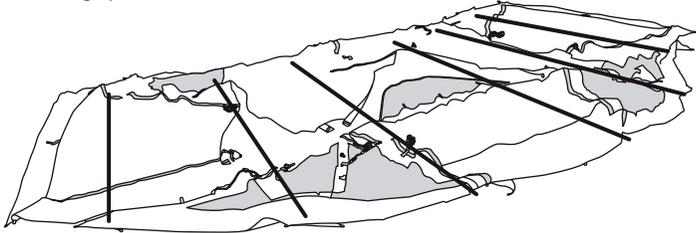
Drive the peg into the ground as far from the shelter as possible. The ideal peg position is when the rope is angled 45° to the ground. Insert the pegs at a 90° angle to the rope.

**Setup procedure** Please make sure to set up with at least two people.

- 1 Spread the shelter on the area to set up. Pay attention to orientation of the front and back panel when spreading.  
\* Make sure that the buckles are connected to all 6 building tapes. If they are not, be sure to connect them before setup.

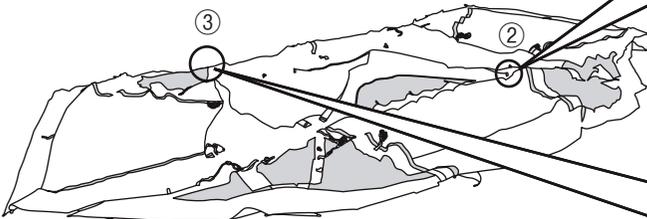
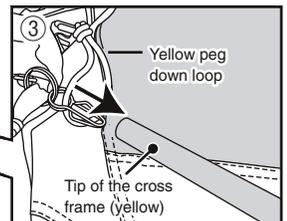
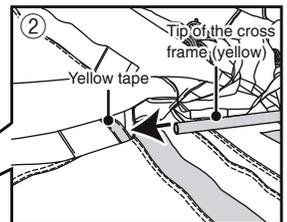


6 building tapes attached to the hems of the shelter

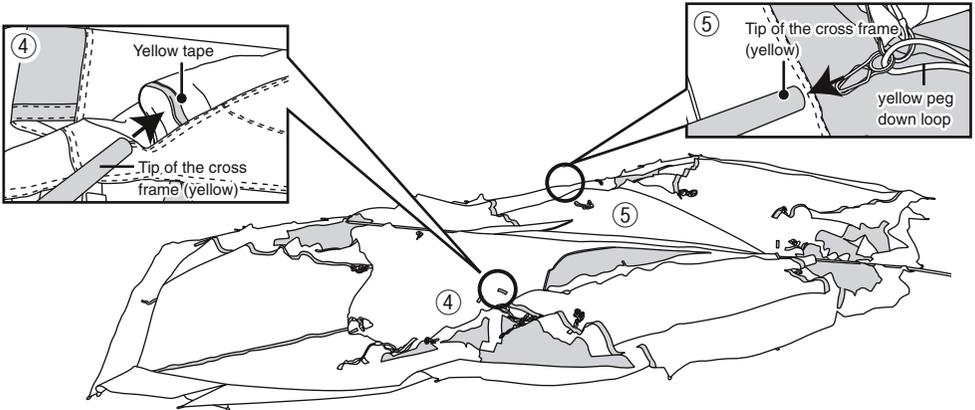


- 2 Insert the cross frame (frame with yellow and gray tips) in the sleeve with yellow tape.  
Make sure that the tip of the cross frame (yellow) matches the color of the tape on the sleeve (yellow), and pass it through the sleeve while connecting the joints of the cross frame.  
\* do not insert the gray tip of the cross frame.

- 3 Next, insert the ring pin with the yellow peg down loop (on the back panel) into the tip of the cross frame (yellow).  
\* When inserting the frame into the sleeve, "push in" the frame. If you pull the frame, the connection part of the frame will come out in the sleeve and pinch the fabric.

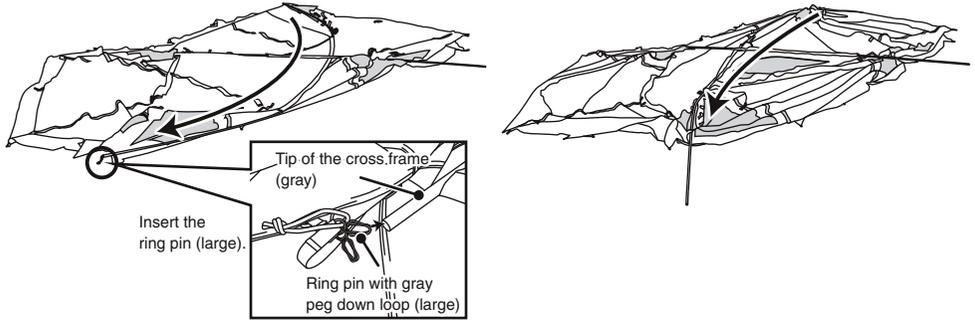


- ④ In the same manner as ②, insert the other cross frame in the sleeve with yellow tape.
- ⑤ In the same manner as ③, insert the ring pin with the yellow peg down loop (on the back panel) into the tip of the cross frame (yellow).

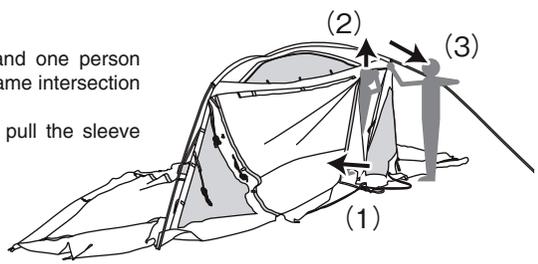


- ⑥ With the shelter lying down, insert the ring pin (large) with the gray peg down loop into the tip (gray) of the lower frame of the intersecting cross frame.
  - \* This corner has two ring pins of different sizes. Insert into the larger one.
  - \* When inserting the ring pin into the tip of the frame, firmly hold the tip of the frame and insert while being careful not to pinch your fingers.

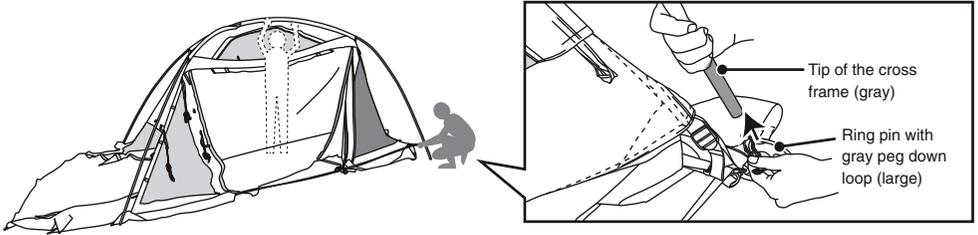
○ Make the frame bend toward the front panel side. ✗ If you bend the frame backwards, the frame cannot connect to the ring pin.



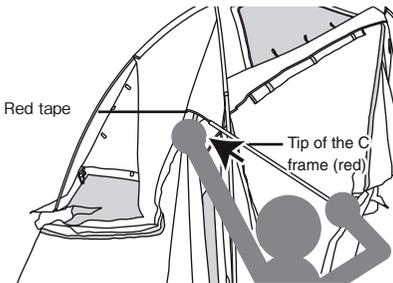
- ⑦ Open the zipper on the front panel (1), and one person should enter the shelter and lift the cross frame intersection from below (2). In the meantime, the other person should pull the sleeve toward themselves (3).



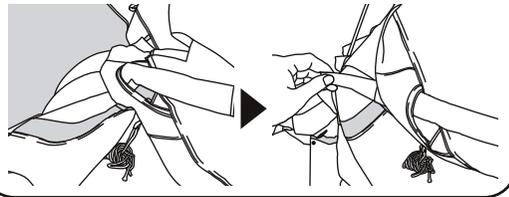
- 8 Insert the ring pin (large) with the gray peg down loop into the tip (gray) of the cross frame. If you pull the sleeve firmly toward you before insertion, it will be easier to insert into the ring pin.



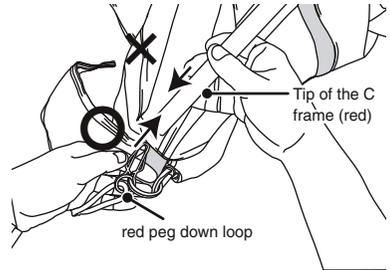
- 9 Pass through the sleeve while gradually connecting the frame so that the tip (red) of the C frame (frame with red and black tips) matches the red tape on the sleeve (front panel side).



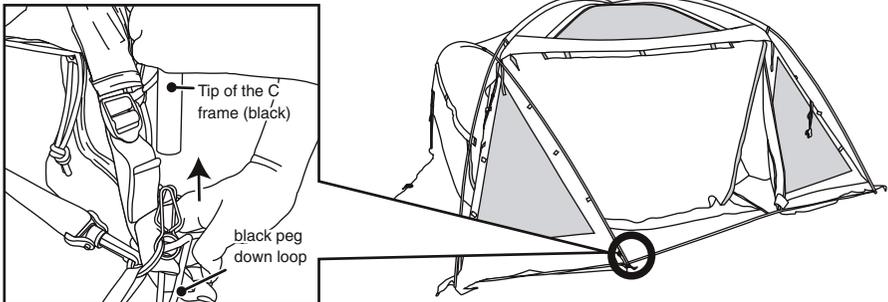
When passing the frame through the sleeve, pass through the outer sleeve as shown in the figure so that the frame does not get caught at the intersection of the sleeves.



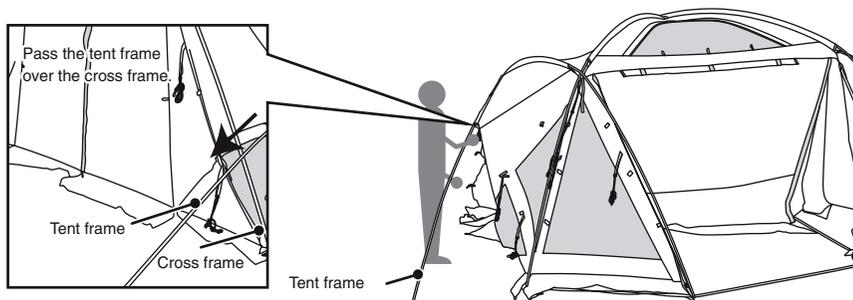
- 10 Move to the back side and insert the ring pin with the red peg down loop into the tip (red) of the C frame (back panel side). At this time, insert the pin into the frame so that the joints are securely connected. If you pull the frame, the joints of the frame will come off and damage the product.



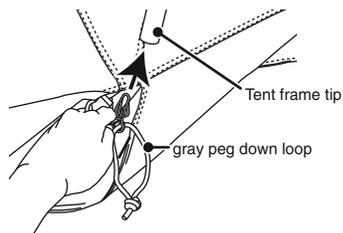
- 11 Move to the front side and insert the ring pin with the black peg down loop into the tip (black) of the C frame.



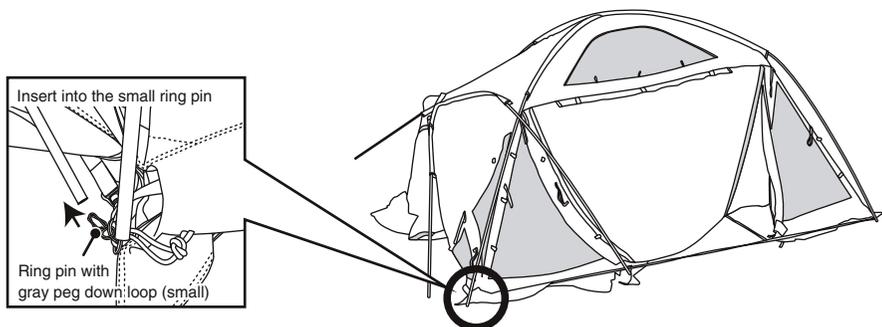
- 12** Gradually join the tip (colorless) of the tent frame and pass it through the sleeve with the gray tape on the end. Then push until the tip of the frame comes to a position where the back ring pin can be easily inserted.  
 \* The tent frame does not have a front or back.



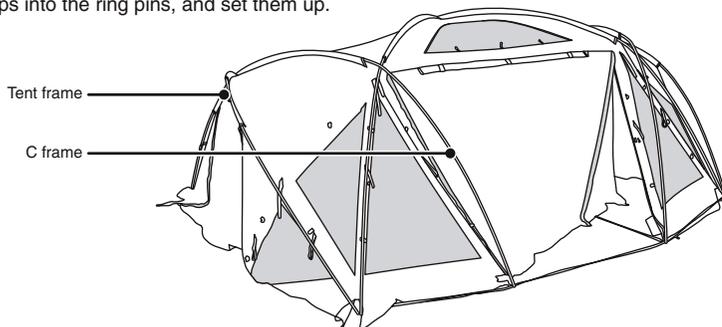
- 13** Move to the back side and insert the ring pin with the gray peg down loop into the tip of the tent frame.



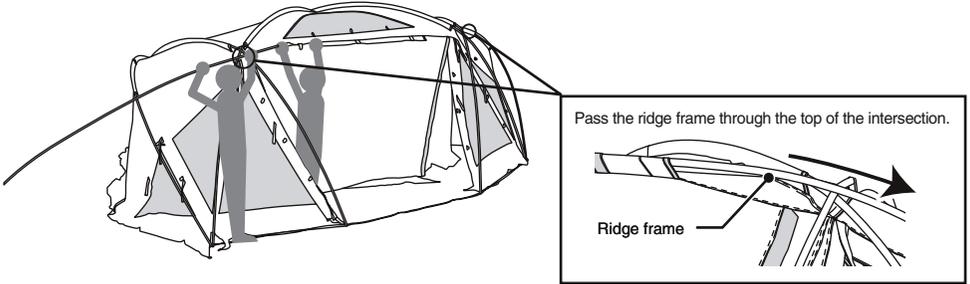
- 14** Move to the front side and insert the ring pin (small) with the gray peg down loop into the tip of the tent frame (front panel side).



- 15** In the same manner as 9 to 14, pass the other C frame and tent frame through the sleeve, insert the frame tips into the ring pins, and set them up.

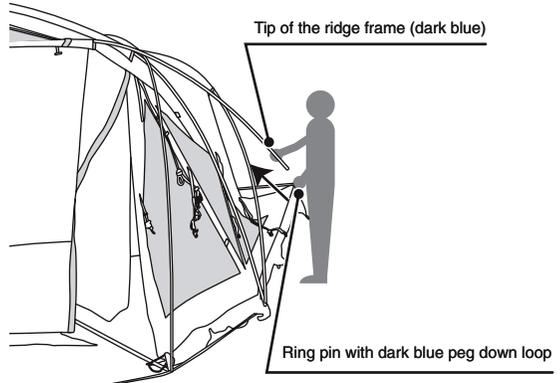


- 16** Make sure that the tip of the ridge frame (dark blue) matches the color of the tape on the sleeve (dark blue), and insert the ridge frame into the sleeve.  
 \* The ridge frame does not have a front or back. Pass through the sleeve while gradually joining the joints of the ridge frame.



- 17** Next, hold the ring pin with the dark blue peg down loop and insert it into the tip of the ridge frame (dark blue).

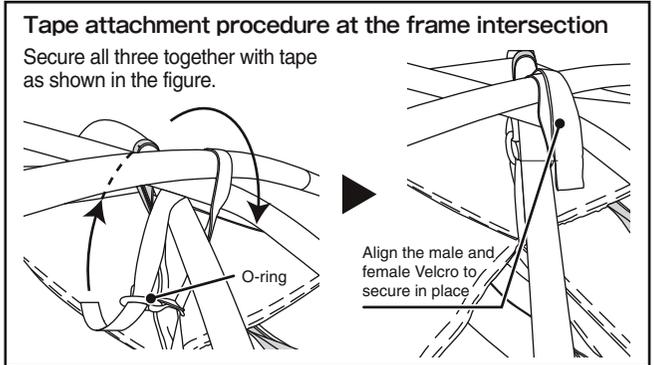
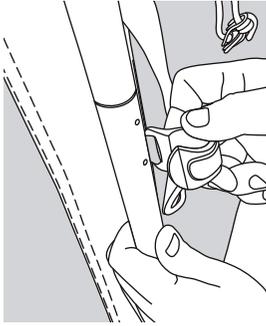
At this time, insert the ring pin into the tip of the frame without pulling the frame. If you pull the frame, the joints of the frame will come off and damage the product.



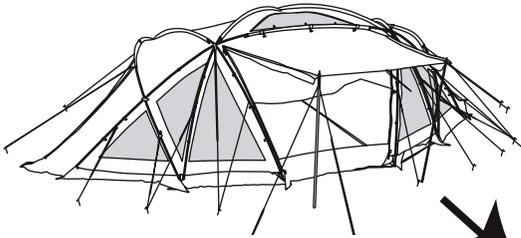
- 18** After checking that the joints are firmly connected without gaps, insert the ring pin with the dark blue peg down loop on the other side into the tip of the ridge frame (dark blue) in the same manner.



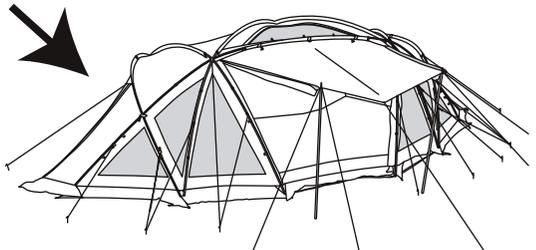
- 19 Attach the plastic hook to the cross frame/C frame/tent frame.  
At the intersection of the frames, pass the tape with Velcro through the O-ring to secure in place.



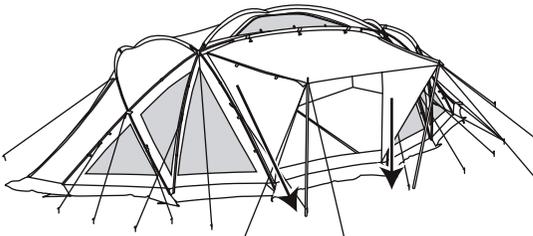
- 20 Pass the Duralumin peg through the peg down loop attached to the hem ring pin and peg down as shown in the figure on page 03, "Attaching the rope with rope tensioner, peg down position". Also firmly peg down the included tension rope. To overhang the front panel, use the separately sold upright pole (TP-080) or wing pole 210 cm and set up with the included forked end rope. Adjust the direction of the rope so that there are no wrinkles.



Note) Water tends to collect on the door panel during rainfall, so tilt the pole diagonally to create a slope, or pull it with a rope to the center of the front panel and peg down to create a large V-shape to create a drainage route for water.



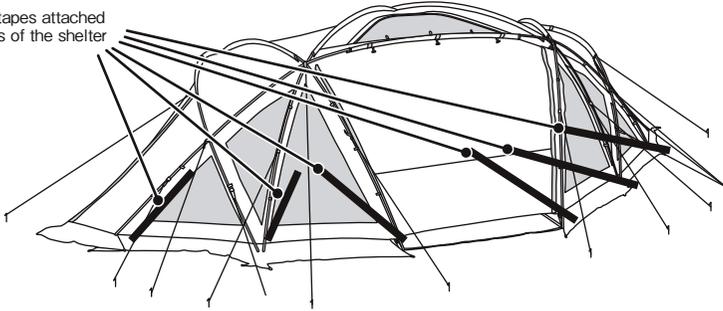
Close the sidewall zipper as necessary.



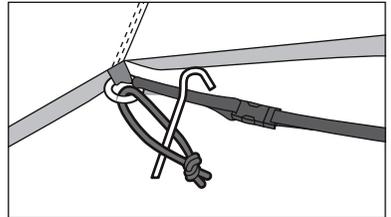
## When removing the building tape

You can remove the building tape to prevent children from getting their feet caught on them. In normal circumstances, do not remove the building tape because doing so will reduce the strength of the shelter.

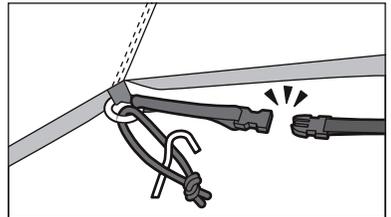
6 building tapes attached to the hems of the shelter



- 1 When removing the building tape, replace the pegs that secure the peg down loop from the outside to the inside of the shelter to prevent the shelter from spreading outward.



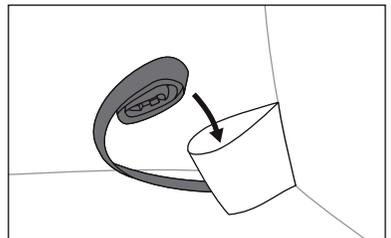
- 2 Make sure the pegs are pegged inward, and then remove the building tape.



- 3 Roll up the removed building tape and put it in the storage pocket.

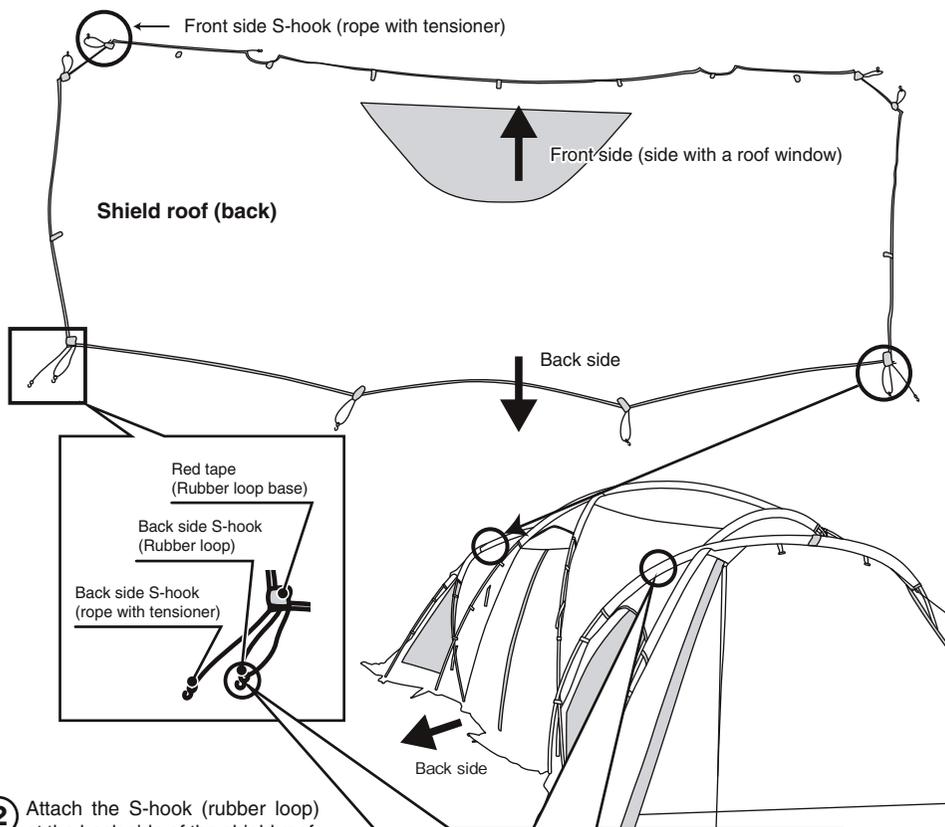
\* Connect the building tape again before disassembly.

If you leave the building tape removed, you will not be able to set up next time.

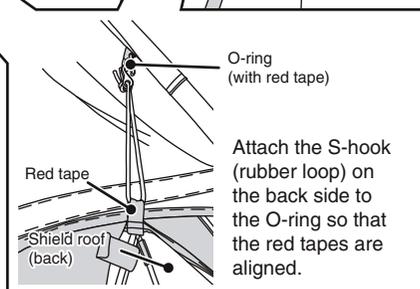


## Attaching the shield roof

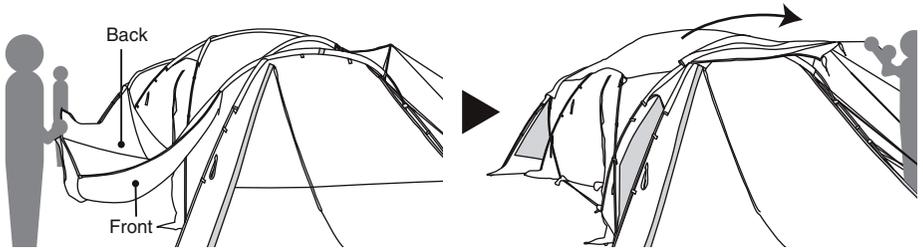
- 1 Spread the shield roof on the back of the shelter and confirm the front and back. (Bilateral symmetry) The PU coated surface (shiny surface) is the back. The figure below shows the back where the PU coated surface is visible.



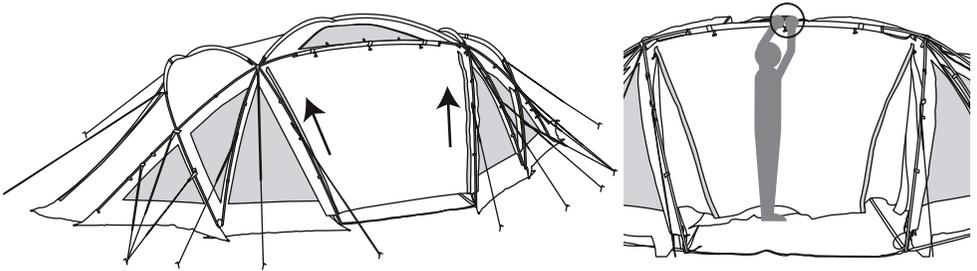
- 2 Attach the S-hook (rubber loop) at the back side of the shield roof, which is marked by the red tape at the base, to the O-ring (with red tape) on the sleeve through which the tent frame on the back of Zecca passes. Attach the S-hook on the other side in the same manner.



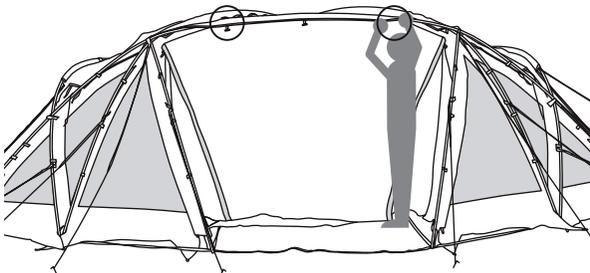
- ③ Have two people hold the S-hook (rope with tensioner) on the front side of the shield roof, and cover the top of the Zecca shelter with the shield roof.



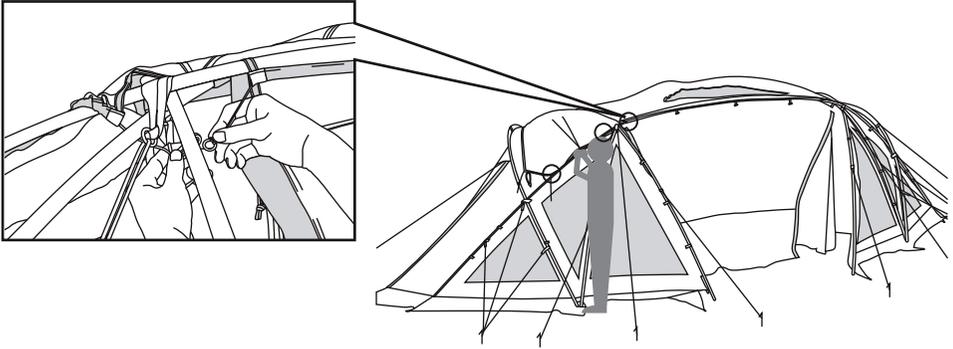
- ④ Open the zipper on the front panel to make it easier to attach the shield roof. Attach the black Velcro tape (male) at the center of the front side of the shield roof to the black Velcro tape (female) at the center of the ridge pole sleeve.



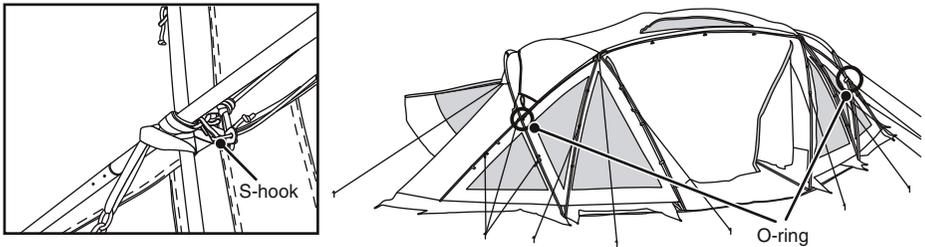
- ⑤ Attach the black Velcro tape (male) on both sides of the shield roof front to the black Velcro tape (female) on both sides of the sleeve.



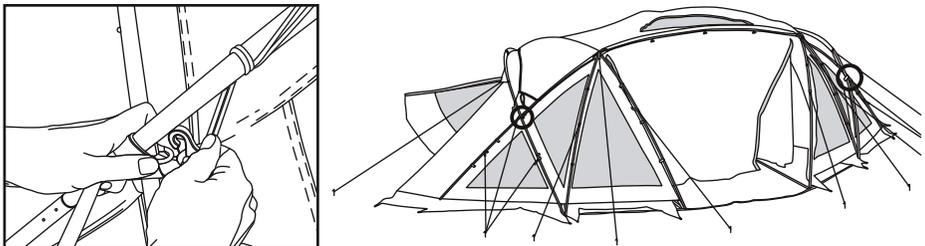
- ⑥ Attach the shield roof O-ring and S-hook so that they go under the intersection of the ridge frame, C frame, and tent frame. Once installed, wrap the red Velcro tape on the back side of the shield roof around the ridge frame.



- ⑦ Attach the S-hook (rope with rope tensioner) on the front side of the shield roof to the O-ring (large) at the intersection with the tent frame. After attaching, repeat steps ⑦ and ⑧ for the other side, and freely apply tension on both sides.



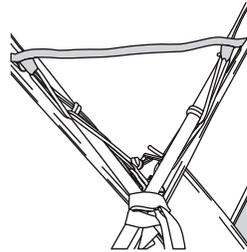
- ⑧ Attach the S-hook with rubber loop to the same O-ring. At this time, turn the rubber loop around the ridge frame once, and then attach the S-hook to the O-ring. Attach the other side in the same manner.



- 9 Attach the red Velcro tape on the shield roof to the black Velcro tape at the center of the sleeve through which the tent frame passes. Then wrap the red Velcro tape at the back of the shield roof around the tent frame, attach the S-hook on the rope with rope tensioner to the O-ring (large) at the intersection, and pull the tensioner to adjust.



- 10 Finally, attach each Velcro tape on the back side of the shield roof to the frame, and then attach the rope with rope tensioner and rubber loop hook at the back side to the O-ring or tape on the extension line of the frame.



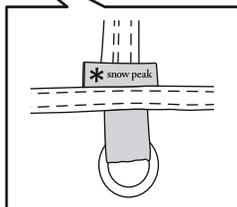
### Attaching the inner room

The ground sheet and inner room can be attached to either the left or right side of the Zecca shelter. In this manual, we describe attachment on the right side.

- 1 Spread the ground sheet so that the PU coated surface (shiny surface) is facing up and the woven name tag is on the indoor side.

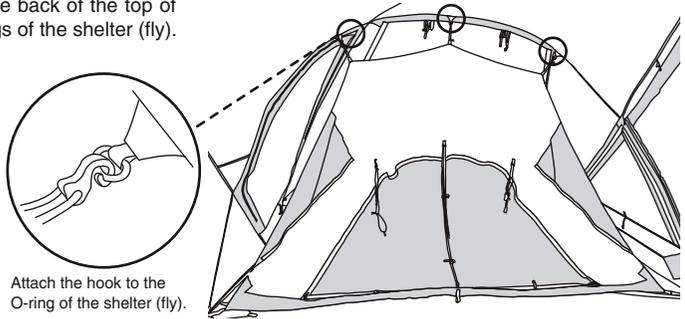


- 2 Spread the inner room so that the part where the logo is printed is in front.



- 3 Stretch the rubber loops at each corner of the ground sheet and attach them to the corresponding pegs. (4 locations)

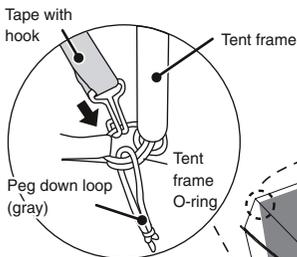
- 4 Attach all three hooks at the back of the top of the inner room to the O-rings of the shelter (fly).



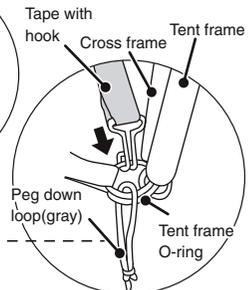
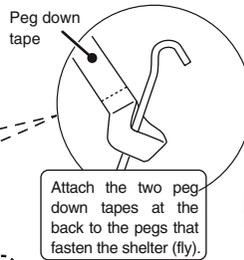
- 5 Attach each of the three S-hooks at the top of the inner room to the specified O-rings as shown in the figure. After attaching, adjust the length of the tape and apply tension.



- 6 Attach the hooks and rubber loops at the bottom corners of the inner room to the O-rings and pegs of the shelter (fly).



Attach the tapes with hooks at the bottom entrance corners of the inner room to the tent frame O-rings of the shelter (fly).



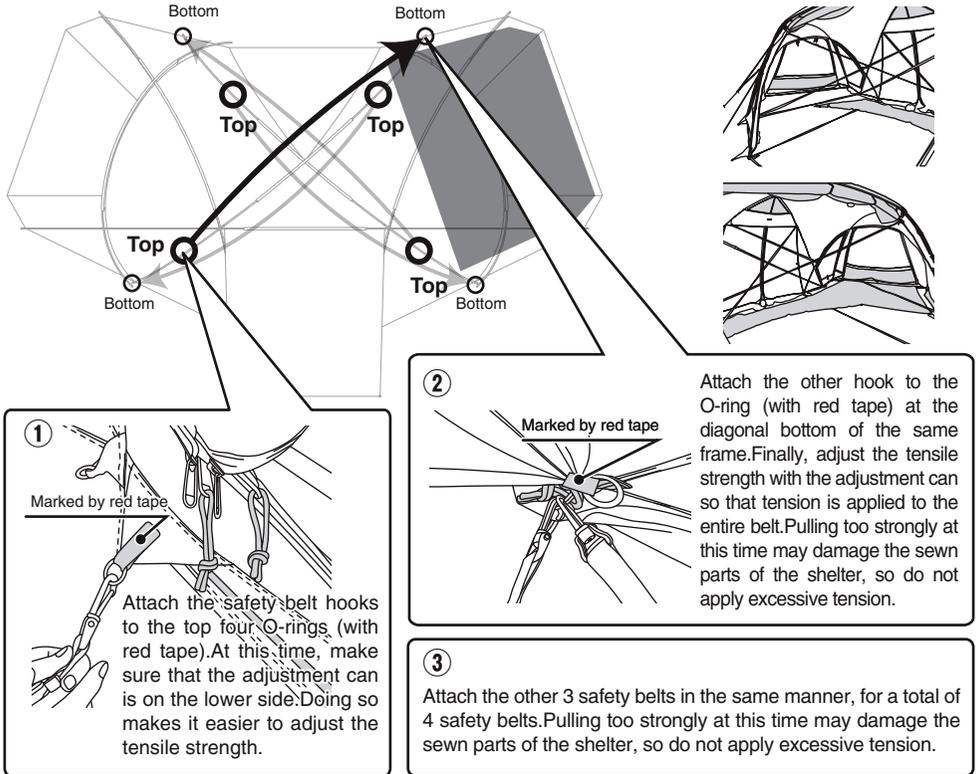
Attach the tapes with hooks at the entrance corners at the bottom of the inner room to the tent frame O-rings of the shelter (fly).

- 7 Finally, peg down the peg down tape at the bottom of the entrance. This peg down reduces the bottom lift when opening and closing the door, making it easier to open and close. (Separately purchase the pegs used here.)

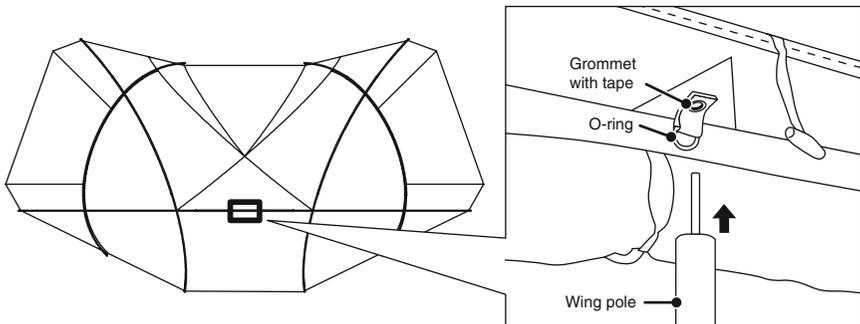
## Using the safety belts

This product is equipped with safety belts and safety rings that maintain stability against lateral wind during strong gusts. Set the inside of the cross frame as shown in the figure below.

■ This is just an assisting measure. It cannot withstand all bad weather conditions. Use only in temporary strong winds or when immediate withdrawal is difficult, or when immediate withdrawal is difficult. Do not put your weight on the safety rings. Doing so may collapse the shelter.



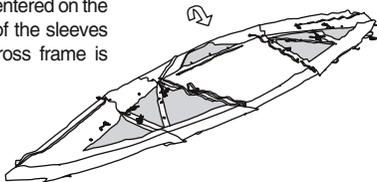
If you are worried even after setting with the safety belts, as an additional assisting measure, insert the tip of the wing pole 210 cm into the grommet with tape near the center of the ridge pole sleeve. Attach a rope with rope tensioner to the O-ring in the grommet with tape, and peg down the rope to the ground.



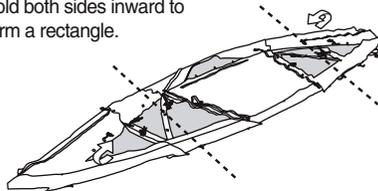
## Disassembly procedure Always disassemble this product with two or more people.

For disassembly, perform the setup procedure in reverse order. Make sure there is nothing inside the inner room and shelter before starting. The fabric will be easier to roll up if you remove the inner room, shield roof, ground sheet, and frame from the shelter, and slightly open the zipper at the inner room entrance.

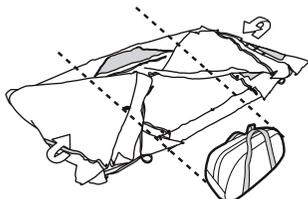
- ① Fold in half centered on the intersection of the sleeves where the cross frame is inserted.



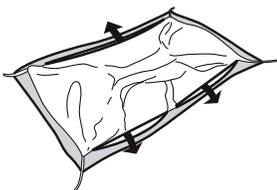
- ② Fold both sides inward to form a rectangle.



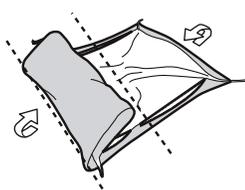
- ③ Fold the rectangular shelter (fly) to a width that fits into the carry bag.



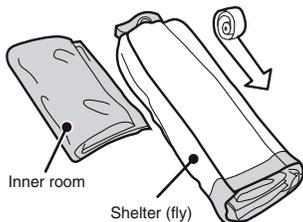
- ④ Leave the zipper at the bottom of the inner room door panel open.



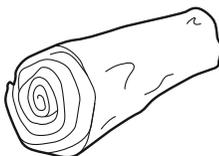
- ⑤ In the same manner as the shelter (fly), fold it so that it fits into the carry bag.



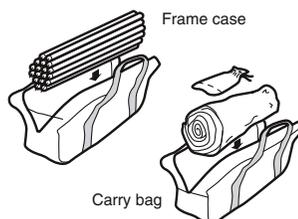
- ⑥ Roll up the shelter (fly) that is the same width of the case toward the hem so that air is expelled. Roll up the inner room toward the zipper opened in ④ so that air is expelled.



- ⑦ Put the shelter (fly) and inner room together.



- ⑧ Store the frames in the frame case, and the shelter (fly), inner room, and pegs in the carry bag.



## Precautions for disassembly and storage

- Make sure that the product is sufficiently dry before storing it.
- If the wind is strong, wait for it to subside before disassembling the shelter.
- If you have attached an inner room, be sure to remove the inner room or any other products from the shelter before disassembling it.
- Ensure nothing is inside the shelter and that all panels and windows are closed.
- Ensure that all belts are connected before taking down the shelter. Connecting the belts makes it easier to peg down the shelter next time.
- Fold the main poles from the center each time. If you fold the main poles from the edges, the shock cord inside the pole may stretch or break, causing the frame to bend or break.
- Remove all pegs, clean them, and store them in the peg case with their heads facing down. Store all frames in the frame case. The frame should be stored with its head facing down in the frame case. If the frame is exposed, it may damage the fabric or the carry bag.



## Regarding condensation

Moisture suspended in the air rapidly cools down and turns into mist, which appears as condensation. In smaller spaces such as inside a narrow tent, the concentration of water vapor is higher than in an ordinary room and frequently results in more condensation. The water that comprises about 60% of the human body is released by breathing and sweating, which becomes water vapor and causes condensation in the tent. In the tent, condensation is more likely to occur on highly waterproof parts such as the fly sheet and bottom part. Depending on the surrounding conditions, completely preventing condensation may be impossible, even with waterproof materials. To reduce condensation, allow steady ventilation while the tent is in use.

## Water-repellent and waterproof functions

- The fabrics of this product are treated with a high-quality, water-repellent finish. However, the level of water repellence and durability may vary slightly due to the characteristics of each material. The water-repellent finish will lose effectiveness after repeated use. When the water repellence decreases, please use a water-repellent spray purchased from your local outdoor gear retailer. When using such sprays, please follow the product's instructions.
- Although this product is made of highly waterproof fabric, rainwater may soak into it if it is in contact with water pools on the ground for a long time.
- The PU coating may be damaged by agricultural chemicals, which cause the water pressure resistance to decrease abnormally. Please note that the product cannot be subject to warranty if damaged by agricultural chemicals.
- The logo may peel off due to the effect of the water repellent agent.

## Regarding the effect of ultraviolet rays

- UV protection treatment has been applied to the material of the shelter.  
\*UV protection treatment does not completely shield humans from ultraviolet rays or stop the deterioration of the material's strength.
- When the shelter material is exposed to sunlight for long periods, color degradation or strength deterioration may occur. Do not leave the product assembled permanently.
- If the material deteriorates due to ultraviolet rays and is badly damaged, it may become irreparable.

## Maintenance & storage

- A polyester fabric blend is used for this product. Considering the material characteristics, we adopted processing and color patterns that will result in less color migration. However, depending on storage conditions, slight color migration may occur. Do not store the product while it is wet.
- Before storage, the product should be cleaned and dried sufficiently. If the product is stored when wet, the build-up of mold, bad odors, color migration, and material deterioration will occur. Dry the product sufficiently in a breezy and shaded area and clean the surface with a soft brush before storing.
- Do not turn the product upside down while the frames are inserted. Doing so may cause damage to the frames or fabric.
- Clean and dry the surface of the frames before storing. If stored when wet, corrosion may occur, resulting in strength deterioration. Keep the joints clean and apply a small amount of silicone lubricant. Applying an excessive amount of lubricant will stain the fabric. Ensure that the cords inside the poles are not pulled unnecessarily.
- When storing the frames, please fold them from the center outwards.
- Please store in a well-ventilated area away from direct sunlight, high temperatures, and humidity.
- Using the zipper when it is covered with mud, sand or dust may cause wear or damage. Clean the zipper with a brush before use. Apply small amounts of silicone lubricant to the zipper regularly to ensure smooth movement. Applying an excessive amount of lubricant will stain the fabric.
- Small areas of fabric damage can be fixed with repair tape. Please read the repair tape manual carefully before applying.
- Depending on the conditions during use, the tent material may deteriorate over a wide area, losing its durability and becoming irreparable.
- Seam tape is pressure-capped at a temperature setting that prevents damage to the PU coating. However, it may peel off as it is used repeatedly. If peeling is found, set an iron at a low temperature and reattach only the peeling sections. Be aware that excessive heat will discolor or accelerate the deterioration of the fabric. If the PU coating peels off completely, it may be impossible to repair.
- Sap cannot be easily removed. Do not set up this product under trees that frequently drop sap. If the sap is forcibly removed with a solvent, etc., the fabric or coating may be damaged.
- If a frame breaks during use, immediately apply a splint as a temporary measure and secure it in place with vinyl tape or remove the frame.
- To maximize the longevity of this product, regularly check and maintain the product (including all accessories such as the pegs).



## Quality assurance

Snow Peak makes every effort to ensure our products are free from defects or flaws for proper function and longevity. If you feel this product is defective or needs repair, please contact Snow Peak or go to the Snow Peak dealer where you purchased this product. If the cause is defective manufacturing, we will repair or replace the product free of charge. In all other cases, we will repair it at an appropriate price. The decision to repair or replace is at our discretion. We may not be able to repair or replace this product in the following cases.

1. Failure due to improper handling described in this manual.
2. Material deterioration from normal aging of the product.
3. Failure due to modification or careless handling.
4. Failure due to unforeseen accidents.
5. Failure due to defects outside of the manufacturing process.
6. Failure due to dust or rust.
7. Defects or damage due to product dismantling.
8. Deformation or defects due to dropping or other physical shock.
9. Defects due to deterioration, damage, or failure of consumable parts.
10. Failure due to use with other manufacturer's products.

## Regarding repair

- If professional repair is necessary, please contact the dealer where you purchased the product or Snow Peak Customer Service.
- Please dry and clean the product before sending it for repair.
- Please attach a memo onto the damaged area of the product. In the memo, include details explaining the circumstances that led to the damage.
- The cost of repair will be determined as follows:
  1. If the damage is subject to warranty, Snow Peak will cover the transportation cost (both ways) and repair cost.
  2. If the damage is not subject to warranty, the customer will cover the transportation cost (both ways) and repair cost.

## Specifications

Contents: Shelter, Inner Room, Shield Roof, Ground Sheet, Cross Frame (x2), C Frame (x2), Tent Frame (x2), Ridge Frame (x1), Duralumin Pin Pegs (x34), Rope with Rope Tensioner (2m(6.6')) x8, 3m(9.8') x14, forked end 7m(23') x2), Safety Belt (x4), Carry Bag, Frame Case, Peg Case, Seam Sealer

Material: Shelter loops/150D polyester oxford, PU coating, waterproof rating 1,800 mm minimum, Teflon water-repellent finish, UV protection treatment; Shelter walls/150D polyester oxford, waterproof rating 1,800 mm minimum, Teflon water-repellent finish, UV protection treatment; Shield Roof/75D polyester taffeta, shading pigment PU coating, waterproof rating 3,000 mm minimum, Teflon water-repellent finish, UV protection treatment

Inner Room (walls)/68D polyester taffeta;

Inner Room (bottom)/210D polyester oxford, PU coating, waterproof rating 1,800 mm minimum; Ground Sheet/210D polyester oxford, PU coating, waterproof rating 1,800 mm minimum; Frame/A6061 ( $\Phi$ 16mm/0.63",  $\Phi$ 17.5mm/0.69",  $\Phi$ 19mm/0.75");

Carry Bag size: Shelter/92×35×40(h)cm(36.2"×13.8"×15.7"),  
Frame Case/73×21×26(h)cm(28.7"×8.3"×10.2")

Weight: 30kg(66.1lbs)

### Snow Peak USA, Inc.

404 NW 23rd Avenue, Portland, Oregon 97210, USA  
Tel. +1 (503) 461-0781 / Instagram. @snowpeakusa  
Email. info@snowpeak.com / www.snowpeak.com

### Snow Peak, Inc.

456, Nakanohara, Sanjo-Shi, Niigata 955-0147 Japan  
Tel. +81 256-46-5858 / Fax. +81 256-46-5860  
www.snowpeak.co.jp

